



TITLE:

[亀田治メモランダム  
]Memorandom3 (KDD本社) : 1976年  
8月4日-1977年11月30日

AUTHOR(S):

---

CITATION:

[亀田治メモランダム]Memorandom3 (KDD本社) : 1976年8月4日-1977年11月30日. CIAS discussion paper No.29 : <東アジア地域研究モノグラフ・シリーズ> 亀田治メモランダム(旧KDD同軸海底ケーブル建設事業覚書) 2013, 29: 73-116

ISSUE DATE:

2013-03-31

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/228553>

RIGHT:

© Center for Integrated Area Studies (CIAS), Kyoto University

# Memorandum 3

(KDD 本社)

1976 年 8 月 4 日～1977 年 11 月 30 日

1976 年(昭和 51 年)

8 月

- 4 日 (水) ・新海底同軸ケーブルシステム開発会議及び同推進連絡会第 2 回会合(7. 28. 開催)の報告をとりまとめ。  
・日中技術専門家会議第 6 回会合の資料整理。
- 5 日 (木) ・今後の作業につき、次課長と打合せ。(15:00～16:30)  
1. 日中技専の役員会報告案の作成 1 次案 8 月 10 日まで。  
2. 工事報告素案の作成。  
3. 建設スケジュールの確認：システム総合試験，伝送路試験。  
4. 東京ー上海間に VFT 回線を設定することの可否：国内伝送路の特性確認。  
5. 保守要領最終稿の作成。  
6. KDD25 年史 原稿作成に対する協力要請。  
8 月 20 日に、梗概案ををもち寄る。  
9 月 10 日に、1 次原稿をもち寄る。  
7. KEC 依頼の「国際海底ケーブル通信」のスケジュールについて。  
前のスケジュール案を修正の要ありとの意見に対し、19 日の幹部会議で問題を提起することとする。  
・夜、OCC 主催のケーブル関係者懇親。(32F. ジャンボール)。
- 6 日 (金) ・午前、三井ビル 歯科。  
・ケーブルプロジェクト連絡会(13:00～14:30)  
日中ケーブル、OLUH0 について、メーカーと打合せ。  
・総企室 総合計画部 里見次長より。  
ASEAN 会議(9 月 3 日～4 日)に出席要請あり、KDD から数名出席することになったので、資料作成・技術からの出席者につき、考慮方の要望、了承する。
- 7 日 (土) ・休み。
- 9 日 (月) ・日中技専(6)の役員会報告につき、吉田課長と協議  
・タイより要請のあった、ケーブル建設費の資料案を、志村取締役の説明。(14:30～15:30)。(業務部、石谷課長、今井調査役と共に)  
・NTT 横須賀通研 渡辺部長より Tel。  
8 月末に、九州へ行くが、その際苓北陸揚局を見たいとのこと。  
予定が決まり次第、連絡を受け、苓北へ通知することとする。
- 10 日 (火) ・LUH0 区間布設の C. S. Mercury に乗船の江幡調査役に、調査事項を指示。  
1. EL の実施体制：  
要員数、服務体制、測定・組立の要員配分、ML との関係、指揮系統など。  
2. EL の設備。  
3. EL の実施方法。  
以上について、KDD が中日ケーブルで実施したものとの差異を把握し、今後の参考とすること。  
・午後、郵政省 電監室 飯島参事官 他 2 名を二宮中継所へ案内。  
吉田課長同行、中井 有シ研究室長 現地で出迎え、伝送実験室案内。
- 11 日 (水) ・NEC 海外伝送通信事業部 大城部長、田中伝送通信事業部長代理と来訪。(15:30～16:00)  
上海へ行き、PFE の件、保守の件、訓練の件で、SPT 側と協議を行ってきた模様の報告きく。

- 12 日     ・ KCS 広島, 江副 氏らと. Golf. 平塚富士見.  
(木)       木村顧問, 林代理船長, 吉田機関長ら 同行.
- 13 日     ・ 徳江, 江幡 両君と懇談.  
(金)
- 16 日     ・ 苓北への駐在者発令. (高崎, 山崎両君).  
(月)       浅海君, 茨城衛星通信所へ異動発令.  
          ・ 資材部小島副参事より, 日中ケーブル布設時に破損した R44 のカップリングの新規調達を  
          保険で賄なう件につき, 協議あり. 破損したカップリングの状況調査(費用 40 万円~95  
          万円)は別途行なうよう, 永田課長に指示.
- 17 日(火)~18 日(水)  
          ・ 夏休みをとる.
- 19 日     ・ 海建本部・役員部長打合せ. (14:30~17:30).  
(木)       (1) 組合との関係に, 余計なマサツを生じない様, 横の連絡をとること.  
              KDD 丸乗船の事前連絡: 緊急出動 24h 以内の時の連絡が問題ないか.  
              (2) 陸揚局服み, 夜間無人化.  
              保全, 回統 両部と打合せ後, 必要あれば, 志村, 笹本両取締役間で話し合う.  
              (3) 建設中の重要な障害は, 郵政省にも状況を知らせる.  
              建設部長→日高参事官へ  
              (4) 電氣的布設の等化器封止技術を KCS にもたせることについて, KCS と協議を進める.  
              (5) KEC より依頼の書物の執筆計画の再検討.
- 20 日     ・ ケーブル船利用計画に関する AT & T との会合の対処方針打合せ. (10~12:00).  
(金)       国際部主催.  
          ・ 沖縄, 陸揚局の保守体制について, 保全, 回統と, 幹部間打合せ. (15:00~17:00).  
              (1) TPC-2 保守用の遠方監視装置の導入後の運用措置.  
              (2) OLUHO ケーブル開通時の保守体制をどうするか, 一遠方抑御を要するか.  
              (3) 日中ケーブルに対し, 苓北への遠方監視装置の導入と, その運用措置.
- 23 日     ・ ATT Messrs. Poythress, Crice, Meierdiercks 来日.  
(月)       ケーブル船利用に関する協議を 23~25 日に KDD と行なうため,  
              表敬(10:00~10:40)の席に出席. (木村常ム, 志村, 笹本取締役, 関係部長).  
          ・ 横須賀通研 渡辺 複合伝送研究部長に Tel. (9:20~).  
              8 月 26 日(木)に苓北陸揚局訪問の件: 14:00~ 夕方までとのこと.  
              苓北 伊沢所長に伝える.  
          ・ 次・課長との打合せ. (13:30~17:00)  
              1. 先週 8/19(木)の役員・部長打合せ結果の伝達.  
              2. KDD 社史の執筆に関する打合せ: 9/16 日までに粗原稿を夫々でつくる.
- 24 日     ・ 歯通のため, 星齒科へ.  
(火)       ・ 国際通信の研究誌に掲載予定の“日中ケーブルの建設”についてその構成案を吉田課長と  
              討議.  
          ・ 苓北一本渡間の同軸伝送路の現状を松田次長にきく.  
              現在, 県道回りの細心同軸 4 チューブが苓北に入っており, 現用, 予備 2 チューブずつと  
              なっている.  
              広域農道廻りの同軸伝送路ができれば, その 2 チューブを現用とする.

- 25 日 (水) ・ATT Messrs. Poythress, Crice, Meierdiercks, AMETEK 社. Mr. Johnson と SCARAB に関する討議.  
午前: Mr. Poythress の technical presentation.  
午後: 関係者と討議.  
夜: 招宴. (新宿 赤坂).
- 26 日 (木) ・役員会に, 日中技・業専門家会議(第6回)の報告を資料提出.  
・役員・部長間打合せ(14:00~17:00).  
・ASEAN 会合.  
・沖縄: 苓北の無人化に対する設備導入に伴う問題.  
要員問題との関連が深いので, 関係部門と緊密に連絡して進める要あり.
- 27 日 (金) ・午前 OCC 訪問, OLU 用ケーブルの製造状況を視察.  
・志村取締役より, 9/2 経営合理化委員会に, 要員関係の討議が行なわれるが, 海建本部関係で, 20 名に要員を削減する案がでている.
- 28 日 (土) ・出社.
- 30 日~31 日・休暇(那須. Br & G.)

## 9 月

- 1 日 (水) ・日中ケーブルの開通式に関する中国側の意向の情報を得て, 首脳部へ連絡処理.  
・技術部管理職へ昇級に関し, 伝達.  
・KEC 依頼の技術図書, 及び KDD・J 掲載の“日中ケーブルの建設”の原稿作成の進め方等につき打合せ(13:30~15:30). 海・技・建 各課代表者  
・三井ビル 星齒科医院. (16:00~16:40).  
・技術課長 外と 懇談.
- 2 日 (木) ・25 年史の原稿梗概作成を進める.
- 3 日 (金) ・部長会 に出席.  
・日中ケーブル開通式に関し中国郵電部外事局長より, 郵政省松井監理官あて, 写真電報 来信.  
・夜, 矢口, 嶋谷, 北村君らと MJ.  
・技師長より, OLU のアースケーブルに関し, 文句あり.
- 4 日 (土) ・出社.  
・午後: 竹中, 森田, 中野, 小林, 柴田君ら, 来訪. (宅). Br.
- 6 日 (月) ・職員部主催: 52 年度技術要員計画に関する技術関係部長間打合せ. 13:30~17:00.  
・志村取締役バンコク出張中の主要事項報告をとりまとめ.
- 7 日 (火) ・志村取締役バンコク出張中の主要事項を報告. (次葉 参照)  
・星 齒科へ(11:30~).  
日大歯科病院へ行くことを勧められ, 紹介状をもらう.  
・来日中の CW. Messrs. Shirt, Warrent を招宴(わたき).
- 8 日 (水) ・午前, 日大歯科病院にて, 検査と治療.  
・午後 出社. (15:00~ )

- ・訪日中の台湾電信総局副局長, 長途電信局長に対する海底ケーブルの専門的な technical presentation について, 志村, 小林, 亀田の 3 名で午前午後を分担し, 9/10 日行なうこととする。

- 9 日 (木)
- ・午前, 日大歯科病院
  - ・出社 11 時過ぎ.
  - ・台湾 電信総局副局長, 長途電信局長の都合で, 会談が繰り上り, 15 時より志村取締役と同席し, 懇談. (約 1.5 時間)
  - ・NEC 大城, 斎藤, 田畑氏 来社.  
志村取締りに同席し, 田畑氏の訪台(51.7 月)時の状況をきく. (14:00~14:40)  
NEC 幹部に, 将来の ASEAN 計画への参加の可能性もあり, OLU の建設を通じて, 東南アでの良い評価を得ておくことが得策であること. 外国へ出す資料や連絡の時は, 上級管理者が充分チェックしてミスのないようにすること等を advice.
  - ・日中ケーブル, 開通式. 当事者会議等の予定ほぼ固まる.
  - ・中国 毛出席 死去.
- 10 日 (金)
- ・日一ケーブルを想定したシステムの建設コストを概算.
  - ・永田課長のヨルダン派遣の件が再燃, 海協室より, 物価高勝のため, 取り止めたい旨を社長室に送付するとのことで, KDD として, 永田君の替りを派遣する意向もないことを高呂次長に確認.
- 11 日 (土)
- ・出社.
  - ・日大歯科病院
  - ・KDD 25 年史原稿作成

添付資料: 報告事項(自 51.8.30~9.6)

志村取締役 殿

51.9.7

海建本部 技術部長 亀田

1. 日中間海底ケーブルの開通式, 当事者会議(第 6 回)の開催に関し, 中国側から別紙 1 の連絡があった.
2. SPT 局長の交代に関し, 別紙 2 の通知が上海市郵電管理局よりあり, これに対する社長名の返電を社長室で手配中である.
3. 荅北~南匯間の海底ケーブルシステム総合試験は 8 月 25 日に終了したので, 予定通り 9 月 6 日より東京~上海間の伝送路試験を開始した. (回線統制部主管)
4. 第 6 回当事者会議において審議するための保守要領第 3 稿を中国側に送付すべく手配中である.
5. OLUHO ケーブルの LUHO 区間の布設は, CS マーキュリーにより 9 月 1 日完了した. (別紙 3)
6. 上記布設工事に参加した CW 職員のうち端局装置の専門家 2 名が 9 月 2 日に来日し, 関係メーカー等を訪問中である. さらに海中設備の専門家 1 名は 9 月 8 日に来日の予定である.
7. 台湾の交通部電信総局副局長梁慶平, 同部台北長途電信局局長陳永祥の両氏が 9 月 6 日 KDD を来訪し, 社長に表敬の後, 総合企画室総合計画部長らと懇談した. 両氏は, 滞在中に, ケーブル陸揚地の選定等について, KDD の専門家の一般的な意見を聞きたい由である.
8. 52 年度の技術要員採用計画について, 職員部主催により技術関係各部長出席の打合会が 9 月 6 日開かれ, 意見が交換された. 海底ケーブルプロジェクトの今後の建設に必要な要員計画については総企画室技術計画部, 海建本部, 職員部間でなお協議することとなった.

以上

- =====
- 13 日 (月) ・ 総企 福地部長に、日一ケーブルに関する建設費概算を、台湾 梁、陳両氏に説明した状況を連絡、長計 17 号との数字の差は、今のところ目安なので、問題にする必要なしのこと。  
・ 日大歯科病院. 12:30～14:30.  
・ 関部長らと、日中ケーブル当事者会議スケジュールについて協議.  
・ CW Mr. Archer KDD ビル来訪. 夜、住友ビルで会食.
- 14 日 (火) ・ KDD 社史原稿作成.  
・ OCC 鳴海常務、志村取締役を訪問. 大河内賞に対するすいせん依頼.  
OLU ケーブル完成後の方がすいせんが容易なので、1 年あとにすることを advice.
- 15 日 (水) 祝休日
- 16 日 (木) ・ KDD 社史原稿作成打合せ(次・課長). 14:00～14:30.  
・ LUHO 布設に際し、C. S. Mercury に乗船した木下課長らの報告に関連して、吉田課長に次の点を指示.  
1. 香港側ケーブルの保護のためのジェット埋設工事、バシー海峡部の布設に対する C. S. Recorder の支援の必要性等につき、次回 TSC までに社内の意見を固めておくこと.  
2. OLU 区間の布設計画を 次回 TSC までに固めておくこと  
3. これらの意思統一のため、技術部一建設部間の打合せを行なった後、海建部 - KCS の打合せを行ない、最終的に志村取締役の下で関係者間の打合せを開き、対処方針案を固めることを、推進すること.  
・ NEC の招宴(泉華荘).
- 17 日 (金) ・ 午前：新宿アイクリニック.  
・ 日中ケーブル当事者会議用資料の検討.
- 18 日(土)～20 日(月)  
苓北出張  
苓北海底線中継所 開所式(9 月 20 日).
- 21 日 (火) ・ 日中ケーブル当事者会議対処方針案 資料の検討.  
・ NTT 通研技術協力部主任研究員(一級)兵藤正男氏(元線路研究室)の告別式(杉並区和泉 4 丁目 文珠院)に白井調査役を同行し、参列. (13:00～)  
・ NTT 通研 石川慶一調査役(情報特許部)来訪.
- 22 日 (水) ・ 午前 日大歯科病院 (10:00～11:00).  
・ 志村取締役の室で、日中ケーブル当事者会議 対処方針の打合せ.  
・ 日中ケーブル当事者会議における ケーブル完成の確認のための資料を、SPT へ送付の処理  
・ OLU、端局の Handbook の作成について、その処理、スケジュール等を松本(一)、高井両君らと打合せ.
- 23 日 (木) 秋分の日.
- 24 日 (金) ・ 星歯科医院(11:00～12:00)  
・ 日中ケーブル当事者会議の対処方針(案)を 28 日(火)役員会にかけるため、技師

長に事前説明.

- ・KDD 社史の「海底ケーブル通信」の原稿 1 次案に関し、執筆打合せ(17:00～18:30)  
(松田, 吉田, 永田, 石井)

25 日      ・ 出社  
(土)      ・ KDD 社史原稿作成など.

27 日      ・ 役員会資料(日中ケーブル当事者会議 対処方針)の副社長, 社長への事前説明.  
(月)      ・ 日中ケーブル当事者会の進め方について, 関部長と共に副社長へ説明.  
          ・ OLUHO ケーブルの OLU 区間布設計画作成上の問題について.  
          建設部と打合せ. (15:00～16:30). (小林, 北村, 吉田)

28 日      ・ 役員会に, 日中ケーブル当事者会議の対処方針(案)について伺い, 了承を得る.  
(火)      < 関, 尾畑, 亀田 説明 >  
          ・ 午後, 羽田空港にて, SPT 劉副局長以下 11 名の代表を出迎え.  
          KDD 副社長, 志村取締役, 海建本部 三部長 外.  
          ・ 京王プラザホテルにて, 会議日程の予備打合せを行なう. (17:45～19:00)  
          SPT 許, 袁, 王通訳.  
          KDD 関, 亀田, 石谷, 吉田.  
          ・ 夜 鶴岡日大教授より, 金門製作所の新規採用の予定につき調査依頼あり.

29 日      ・ 日中ケーブル会議(第 6 回)始まる.  
(水)      午前 全体会議(10:30～11:30)  
          ・ 午後 より 技術部会を開始.

30 日      ・ 日中ケーブル会議. 技術部会  
(木)

## 10 月

1 日           同上  
(金)

2 日           同上  
(土)

4 日      午前, 技術部会. 午後, 全体会議.  
(月)      吉田課長に指示.  
          1. OLUHO TSC(6)の 課題の検討.  
          2. 大容量ケーブル方式の開発計画案の中で, 1.7" ケーブルの試作を行なうことの検討  
          \* 本問題は, OCC 宮川社長, 木村顧問から, NTT の試作と一緒に KDD も試作をしたら如何との話しに関連.

5 日(火)～7 日(木) SPT 劉副局長以下を 荅北中継所に案内.

8 日      ・ 日中ケーブル会議  
(金)      午前 技術部会  
          午後 全体会議にて, 合意文書の署名  
          ・ NTT 通研 松浦室長より Tel. NK 間の技術情報協定の延伸について.

9 日      午前 技術・業務 合同部会.  
(土)      予ビ品, 開通式の協議.



午後 京王プラザホテルにて、技術関係の残った問題(技術論文の発表の件等)を協議。  
大島常ムより依頼の ISS 京都会合の関係資料を袁氏に渡し、交換関係者への伝達を依頼。

- 11 日 体育の日のふりかえ休日。  
(月) 7時に京王プラザホテルに行き、9時 JAL 発の SPT 一行の見送り
- 12 日 ・吉田課長に、NK 合同委. 首席委員を始めとする KDD 側委員の変更処理手続きを進めるよう指示。  
(火) ・三井ビル 星齒科。(11:30~11:50).  
・KEC 松本部長に Tel : 25 年史原稿について  
・総企 池田部長に Tel.  
① 技術開発の長計 18 号における計画について  
② 海底ケーブル建設の要員、組織の再検討について  
来週 再検討のこととする。
- 13 日 ・新技術開発推進委員会(第 33 回) 13:30~18:00.  
(水) 有竹委員長 欠席, 大島副委員長 代行.  
長計 18 号技術開発計画(案)の審議。
- 14 日 ・OLUHO OPS/FIN. SC. 及び 調整委員会 東京会合の 対処方針(案)作成 打合せ。  
(木) 国際部 主催. 木村, 志村, 笹本 各役員 出席. 14:00~18:00.
- 15 日 ・OLUHO TSC(6)マニラ会合における 要討議事項と準備資料について。  
(金) 吉田, 石井両君と打合せ。  
・NK 合同委の KDD 側委員の変更, 技術情報協定の延伸について。  
大島常務に 案を 説明, 了承を得る。
- 16 日 ・木村顧問, 木下課長と GOLF .  
(土)
- 18 日 ・NK 合同委の KDD 側首席委員以下の変更および, 技術情報協定の継続につき, 有竹技師  
(月) 長の下承を求める件, 小島秘書課長に協議。  
秘書課より, 技師長に伝えてもらうこととする。  
・夜 日中ケーブル完成に関し, 三井物産 他 業者側より KDD, KCS 関係者を招宴。  
・OCC 斎脇氏より, 1. システムの講義依頼。  
2. TPC-2 ケーブルデータの提供については, 鳴海常ムに KDD から話しをすれば, 可能。
- 19 日 ・25 年史原稿作成を進める。  
(火) ・昼, 志村取締役の KCS 役員招宴に出席。
- 20 日 ・秘書課 田中調査員より, NK 合同委委員, 技術情報協定の延伸について了承され, 委せる  
(水) との意向を有竹技師長が示されたと 連絡あり. 直ちに, 委員変更通知の事案決定処理を  
松田君に指示。  
・以上の件, NTT 渡辺幹事(通研・複合伝送研部長)に Tel し, 技術情報協定の延伸の協議  
方法について相談したいと話す。  
・ATT Messrs. Nichols, Goebel, Pappert 等の 表敬の席に出席。(14:00~)  
・今後の海底線建設の要員数と作業量について検討のため, 日中, OLUHO における電氣的  
布設, 機材の設計と検査の状況を, 永田, 松本(一)君にきく。

- 21 日  
(木)
- ・KN 合同委員会 KDD 側首席委員以下の変更を NTT に通知する件、事案決定.
  - ・1.7" ケーブルについて、試作し、基礎検討するのを研究所で研究プロジェクトの中で行なうことにつき、中込所長と協議。  
志村取締役から大島常ムにも話しをしてもらう、大島常ム了解されたとのことで、中込所長に伝えたが、大島常ムは中込所長には慎重に検討するよう指示されたとのこと。
  - ・NTT 通研渡辺伝送研部長より Tel.  
技術情報協定の継続について、電通記念日のパーティの席で、KDD 首席委員から北原技師長に相談してほしいとのこと、一応、首席委員間で了解してもらった方が、事ム当局は動き易いとのこと。  
また、両社間の文書交換は、満了までに、充分検討のうえ行ないたいとのこと。
  - ・以上の件、志村取締役にはかり、大島常ムにお願いすることとする。
- 22 日  
(金)
- ・臨時役員会で、日中ケーブル会議報告を行なう。
  - ・前記技術情報協定の延長につき、北原技師長と話す件、志村取締役より大島常ムに話され、志村取締役より副社長、社長に了承を得て、大島、志村両役員が北原技師長と話しをすることとなる。
  - ・以上を NTT 渡辺部長に Tel.
  - ・郵政省電監室 飯島参事官、真鍋副参事官 来訪。  
高松資材部長とともに、アルミケーブルの現場試験関係の受託契約について協議、以下のように合意。
    1. メーカーとの共同受託については、OCC のケーブル製造中の工程管理を KDD が行なうことで、コントロールなしの責任がないようにする。
    2. 将来の撤去については、必要が生じた時、双方で協議する旨の文を入れる。
- 23 日  
(土)
- ・総企室 池田部長と要員問題の協議。
  - ・18 号長計への織り込み方について。
    - 1) ケーブルプロジェクト計画に併せて 要員数を算定する。
    - 2) 外注量とそれによる要員節減数を検討する。
    - 3) 外注により建設費等の経費面が受ける effect を検討する。
    - 4) 以上の点について、志村取締に方針を伺い、方向ができれば、海建技の担当者と総企技計の担当者間で協議する。
  - ・電通記念日 NTT の旧在職者招待宴に出席。※(帝国ホテル。14:00～)
- ※NK 合同委 NTT 幹事 渡辺・村上氏と技術情報協定の継続につき協議。
- 25 日  
(月)
- ・日中間海底ケーブル 開通式。  
9:30 式場ホテルニューオータニへ行き、式場、被露宴会場、記念通話の試験状況を見廻る。  
10:55 福田郵政相 到着、式場へ案内  
11:00～11:45 開通式  
11:50 郵政相と被露宴会場へ案内  
12:15 郵政相退出、VIP ゲートへ案内、見送り。  
13:30 宴終了。  
13:50 ホテルより帰社。
  - ・要員問題。  
志村取締役役話し、会社の方針に沿い、少数精鋭で臨むこと。将来のプロジェクトに備え、システム開発を行なえるようにすること、を考慮するよう指示あり。  
今後は、現在の 3/4 程度の勢力で可能と思われるとの意見を了承さる。
  - ・松田、吉田両君に経緯と方針を示し、18 号長計への要員案の算定を指示。
    - 1) 外注し得る作業を見積ること。
    - 2) 日中・OLUHO の実績を得た結果、簡易化し得る作業を見積ること。
    - 3) 外注の効果(建設費の面)を見積ること。

- 4) 開発作業を見積ること.
  - 5) 建設作業もルーチン化するように考えること.
  - 6) 案作成後, 総企室と協議し, 長計 18 号作成資料をまとめる.
  - 7) 現段階では, 外注について, 部外と討議することは妥当でないので, 保有する資料等で調査・検討し, 協議範囲を広げないこと.
- 26 日 (火)
- ・ OLUHO TSC(6)の対処方針 役員会資料の検討.
  - ・ KEC 技術図書について打合せ. (16:30~18:00)松田, 吉田, 永田, 松本(一), 杉本. 項目を整理し, 構成案を定める.
- 27 日 (水)
- ・ 志村取締役より指示.
  - 1. 技術情報協定(NK 間)の継続について, NTT 技師長は内部で検討させると云われたので, そのフォローアップをすること. (大島常務より).
  - 2. 日中ケーブル関係者の慰労について検討すること.
  - 3. 外部へ出すケーブル長等の数字は, 一貫性のあるものにすること.
- △OLUHO OPS/FIN 合同 第2回会合 始まる. 29 日まで.
- ・ OCC 鳴海常務に Tel. (10:00)
  - 1. 大河内賞関係資料の返却.
  - 2. TPC-2 用ケーブルのデータの一部提供の依頼.
  - 10/29(金)に, OCC 斎脇, 寺西両氏が来訪するので, 以上の件を寺西氏に依頼することとする.
  - ・ 星歯科病院. 16:00~
  - ・ OLUHO OPS/FIN 会合出席者に対する木村常務招宴.
- 28 日 (木)
- ・ NTT 通研 渡辺部長に Tel. 技術情報協定の継続につき, NTT 側の意向を確かめたが, 確認できず, 村上技術局次長と相談するとのこと.
  - ・ 労組に対し, OLUHU ケーブルの説明: 松田他, 各課長より.
  - 開通時の保守体制, 工事実施時の作業と要員等の詳細説明をさらに求められたとのこと.
  - ・ OLUHO TSC(6) 対処方針案 役員会資料 作成.
- 29 日 (金)
- ・ NTT 技術局 村上次長に Tel. 技術情報協定の継続につき, NTT 側の首脳部の意向は未確認とのこと. 確認後, 返事をもらうこととする.
  - ・ 日大歯科病院(11:00~): 入院の日取りを決める.
  - ・ 吉田課長と, 長計 18 号の要員算定資料につき協議.
  - ・ OCC 斎藤, 寺西 両氏 来訪. (15:00~).
  - BTL における, SG ケーブルのコスト低減化案の説明をきく.
  - ・ 総合企画会における長計 18 号のケーブルプロジェクト計画案の審議のなかででた問題(沖一本ケーブルと沖一台ケーブルの併行建設)の検討結果を志村取締りに報告.
- 30 日 (土)
- 出社.
- ・ 志村取締りに, 技術部副参事の定期管理表を提出.
  - ・ 前日 OCC より得た, SG ケーブルに関する情報を報告.
  - ・ ASEAN ケーブルの計画の動きについて, 話しあり.
- 11 月
- 1 日 (月)
- ・ OLUHO 調整委員会 始まる. 14:00~
  - ・ 要員問題について, 志村, 井上 両取締役, 職員部長と緊急協議.
  - 51 年度技術系要員採用計画において, 海建本部要員削減を 24 名とする案に対し, 異議を唱え, 11 名減まで認めることとしたが, 社長の指示で, 15 名減, 29 名の要員数となる. (OLUHO 完成以降).
  - ・ OLUHO 会議 出席者の 副社長招宴. (新千代)

- 2 日 (火) ・ OLUHO 調整委 (5)． 9:30～13:00．  
16:30～18:00． 終了．

4 日 (木) ・ 役員会に，OLH TSC-6 マニラ会合の対処方針を伺い，了承さる．  
・ 研究所 中井室長に． 1.7" ケーブルの経済化に関する BTL 案 (OCC 提供) を説明．

5 日 (金) ・ 18 号長計作成のための海底線建設要員案について，総企室 池田部長，橘次長と協議．  
(9:45～10:45．)  
・ NTT 村上技術局次長に Tel．  
11 月 6 日～16 日． マニラ出張のため不在の旨告げ，帰国後，技術情報協定の延長について話し合うこととする．  
・ 社長へ，マニラ出張のあいさつ．  
ASEAN ケーブル計画について，情報を可能な限り得るよう指示あり．  
・ 25 年史原稿 脱稿．  
KEC へ提出，コピー，志村取締役へ提出．

6 日 (土) ・ マニラ出張のため 羽田 Lv. 15:30．

8 日 (月)～12 日 (金) OLUHO TSC． 第 6 回会合 ETPI 会議室．

13 日～15 日 クリマオ・バギオ 視察． (腹痛のため，不参加)．  
Mr. Powell より Convenor's Report 受領． 夜 ETPI を招宴 (金ぷら)．

16 日 (火) 帰国．

17 日 (水) ・ 志村取締に TSC (6) の Convenor's Report と Minutes を提出．  
・ 社長に帰国報告．  
・ ASEAN ケーブルについては．  
1. CW の動きが ETPI に対し活発である．  
2. ETPI は資金が問題のようである．  
3. 地の利からみて，日本方式の使用には，布設・保守の点で不利がある．  
・ 布設費をもっと安くするよう，検討せよとの指示あり．

18 日 (木) ・ 長計 18 号の要員計画について，総合企画会の審議結果を検討．  
職員部との協議の段どりをつけるよう松田次長に指示．  
状況を志村取締に報告．  
・ OLU 区間の電氣的布設の要員配置について，永田，徳江 両君から，また，システム試験の要員配置について吉田君から，各案の説明あり．  
・ それぞれの課内で全員参加して進め方を協議検討すること．  
・ 沖縄，KDD 丸，クリマオの各グループのチーフは，一貫して責任を持って指揮に当ること．を指示．  
・ 渡辺寧先生 昨 17 日夜死去されたと，喜安夫人より連絡あり．  
・ OCC 廻常務来訪： 1.7" ケーブルの勉強会を提案，また，ATT の spec. を見せてもらうことを依頼．

19 日 (金) ・ 午前 日大歯科． 11:00～12:00．  
・ 渡辺先生の密葬に参列： カトリック田園調布協会． 13:00～15:00．  
新川さんに会う．

- シンガポールより帰国とのこと、何れ ASEAN についての情勢報告に KDD に見えるとのこと。
- ・志村取締役より。  
永田君のシドニー駐在所長への転出の件、指示により永田君に話し、早急に返事をするよう求める。
- 20 日  
(土)
- ・出社。
  - ・永田君より、シドニー事ム所長への転出を受ける旨、回答あり、志村取締に伝える。
- 22 日  
(月)
- ・OLUHU TSC(6) 役員会報告資料作成。
  - ・職員部長と長計 18 号の海底線建設要員計画について協議。  
53 年度以降について、省力化に対し検討した資料の作成を海建本部側でつくり、なお、協議のこととする。
  - ・ETPI Mr. Hinchcliffe 来日し、KDD へ来訪。
- 24 日  
(水)
- ・午前、日大歯科病院。11:00～14:00。  
志村取締役より、ASEAN ケーブルの比ーシンガポール間ケーブルに、日本方式の採用の可能性はあるか否かについて検討すること、小林部長と共に指示を受ける。
  - ・労厚部主催、第 2TPC および OLUHO に関する沖縄での保守体勢について関係部長打合せ。(労厚、職員、回統、保全、海建)。15:30～17:30。
  - ・志村取締役より、永田君のシドニー駐在事ム所長、徳江君の線路課長への発令内命の指示あり、11 月 29 日で発令の旨、内命する。
  - ・有竹技師長 本日未明 死去。
- 25 日  
(木)
- ・松下技研 中野朝安氏に Tel。
  - ・有竹技師長死去につき、東北大同窓会東京支部への連絡。
  - ・役員会に、OLUHO TSC 第 6 回会合(マニラ)の報告。
- 26 日  
(金)
- ・吉田課長を伴ない、NTT 技術局村上次長を訪問。横須賀通研 渡辺部長も同席。  
NK 合同委の特許・技術情報協定の延長について協議。(9:30～11:00)
  - ・日大歯科病院により、午後 帰社。
  - ・故有竹常務の通夜、自宅を弔問。(18:00～19:00)。
- 27 日  
(土)
- ・技術部レク 旅行。(箱根)。  
歯通のため、不参加。
- 29 日  
(月)
- ・日大歯科病医院に入院。12 月 9 日まで休暇。
- 12 月
- 10 日  
(金)
- ・午後より出社。
  - ・副参事以上の身上調書を作成、担当役員に提出。
    - ・不在中の業務の推渉状況につき、松田、吉田 両君より報告あり。
- 13 日  
(月)
- ・午前、日大歯科病院。
  - ・NEC 端局の訓練、回線復旧計画の打合せ等に来日中 ETPI Mr. Histed, Mr. Hinchcliffe, Mr. Shirt, Mr. Cabalu 他に対する志村取締役招宴。
- 14 日  
(火)
- ・要員関係資料の改善を 松田次長に指示。
  - ・午後、渡辺寧先生の葬儀に参列。(目白、聖マリアンナ教会)

- 15 日 (水) ・ Mr. Histed の NEC 訪問に併せて、玉川工場で 端局、中継器を視察。
- 16 日 (木) ・ ETPI の Messrs. Histed, Hinchcliffe と共に、富士通小山工場にて、OLUHO 用給電装置、中継器を視察。
- 17 日 (金) ・ 電子通信学会誌 総合報告に、“日中間海底ケーブル”をのせる件につき、志村取締役から話しがあり、案を作成し、学会誌編集委員の井上データ通信部次長に、学会編集委員会への提案を依頼。  
・ 日電泉華荘にて、ETPI, KDD の端局訓練生の終了式に参加、出席。(18:30～)。
- 18 日 (土) ・ 出社。  
・ 学会発刊の“海底ケーブル通信方式”の素稿作成にとりかかる。
- 20 日 (月) ・ 志村取締役海建 3 部長で、ASEAN ケーブルの比-シンガポール間ケーブルに対する今後のとり組み方を協議。(10:30～11:30)。  
・ 52 年度社長表彰の上申書を提出：技術部より 4 件。  
・ KEC と打合せ(13:30～14:00)：松岡常務理事、谷山部長、小暮氏、亀田、吉田。  
技術図書発行のためのスケジュールについて、原稿作成を 52 年 9 月まで延期をはかることとなる。  
・ 職員部長と、海底線建設要員計画について協議。(14:00～15:30)  
首脳部への説明資料の作成を進め、関係役員懇談を早急に行なうこととする。  
・ 日中ケーブルの建設関係者に対する社長の慰労宴。(18:00～20:00)
- 21 日 (火) ・ 沖縄海底線中継所の保守体制に関し、関係部長間で打合せ。(9:30～11:30)。  
職員、回統、保全、海建、技・建、労厚の各部。  
・ NEC 斎藤部長(営業)と Tel 打合せ。  
・ 比-シンガポールケーブルの進み方について、メーカー各社と打合せたい旨を伝える。  
メーカー間で、一本化のための協議中なので、その協議が調い次第、KDD へ来訪すること。  
・ NK 合同委員会の幹事及び関係者間で、技術情報・特許の協定の延長について打合せ。  
(16:00～18:00)：あと、懇談。(三井ビル、中国宮殿)。  
・ NEC 大城、田畑 両氏、志村取締役のところへ来訪(14:00～15:30)。  
シンガポールで 12 月 15、16 日に開かれた、ETPI. TAS の比-シンガポールケーブル建設に関する会議への出席模様の報告あり。
- 22 日 (水) ・ NK 方式分科会(第 24 回)。14:00～17:00。横須賀通研にて。  
・ 帰路、逗子整形外科病院にて石井君を見舞い
- 23 日 (木) ・ 午前、日大歯科病院  
・ 海底線建設要員について、省力化の分析を松田、吉田 両君と行なう。(14:00～17:00)  
・ 夜、担当役員による海外協力室、海建本部 副参事以上の管理者との招宴。
- 24 日 (金) ・ OCC 斎脇氏来訪(9:30～10:00)  
OLU 区間用ケーブルの製造が完了したこと、徳江課長がシステムの説明を行なったこと等について報告と謝意。  
・ A1 ケーブルの開発会議推進連絡会に 志村取締役役と共に委員として出席(14:00～15:00)  
・ 池田総企技計部長と長計 18 号の関係について懇談 (16:00～17:00)
- 25 日 (土) 通研 森永氏より、CBC の引き継ぎ打合せにつき Tel.

26 日 (特記事項なし)  
(日)

27 日  
(月)

- ・通研 森永, 安田 両氏 来訪 : CBC 幹事引継ぎ. (12:30~13:40).
- ・星齒科医. (15:00~16:00)
- ・要員問題につき, 松田, 吉田 両君と, 検討.

28 日  
(火)

- ・ASEAN Cable の一環としての, ビーシンガポールケーブルに対する日本式の tender を出す件について, NEC, FUJITSU, OCC, 三井の各社と協議. (14:00~16:00)

29 日  
(水)

- ・整理  
仕事納め.



昭和 52 年(1977 年)

## 1 月

- 4 日 (火) ・ 仕事始め.
- 5 日 (水) ・ 研究所との会合, 技小委(6)Convenor's Report の Comment 等につき 吉田課長に指示.
- 6 日 (木) ・ 海建本部の要員計画に対する方針案作成を進める.  
・ NEC 田畑氏 来訪.
- 7 日 (金) ・ 部長会(10:00~11:30).  
・ 日中ケーブル建設の映画(岩波製作)の試写をみる(14:00~14:40).  
・ ビーシンガポールケーブルのシステム検討のための打合せ.(15:00~16:30).  
建設部から, ルート, スラック, 埋設等に関する意見をきき, システム設計のための基本条件を固める.  
・ 星齒科.(17:00~17:30)
- 10 日 (月) ・ OLUHO TSC(6) Convenor's Report に対する 調整委代表の Comment 作成, 発信.  
・ 主任以上に対する招宴.(両国. かりや)
- 11 日 (火) ・ 研究所で, ケーブル関係の協力要請, 開発, 技術図書執筆 等について協議.(10:00~11:45).  
・ 中込所長らと, 故有竹技師長の七七忌法要に参列, 府中安養寺.
- 12 日 (水) ・ ビーシンガポールケーブル計画の打合せ., ケーブル船の問題 等.(14:00~16:00).  
N, F, OCC, 三井 の関係者, KDD: 海建, 担当役員, 部長 出席.  
・ 技術部 有シ研, 計測研 合同 新年会.
- 13 日 (木) ・ 星齒科.  
・ 海建要員資料の作成について, 松田君と協議.
- 14 日 (金) ・ 部長会なし.  
・ 志村役より, 大島技師長から VENUS 計画に対する ケーブル伝送路についてきかれたとのこと.  
群帯域の伝送に対し, pilot の問題, delay, 位相ジッタ, 瞬断 等の問題の有無.  
TPC-2 では, 沖縄~宮崎間に NTT のケーブル伝送路が完成すれば, 以上の問題は小さくなると思うが, 調査は必要との意見を述べる.  
・ Bridge Party: 研究所にて.
- 17 日 (月) ・ 沖縄中継所の保守体制について, 関係役員, 部長間打合せ.(10:00~11:00)  
回統部主催, 志村, 笹本, 井上, 各取締役. 亀田, 小林, 西田, 河井, 松本, 中井 各部長.  
・ Philippine-Singapore Cable(PSC)のシステム構成の打合せ(14:00~16:00)  
N 田畑, 他. F 奥村 他. O 寺西 他. KDD 亀田, 吉田, 徳江, 石井.
- 18 日 (火) ・ 富士通 磯部, 池田, 北村(営業)氏 来訪.  
KDD 丸で埋設し, 深海部は大形船(ex. C. S. Venture)で布設するとした場合の布設と見積り結果の報告.  
・ NET 金子局長より Tel, 小野田君の授彰を祝うことについて.  
・ 星齒科医院.



- 19 日 (水) ・海建本部の要員につき打合せ。(松田, 吉田). 13:30~16:00.  
・道下氏と会食。(研 和田室長同席). つなよし.
- 20 日 (木) ・武蔵野通研における研究討論会に出席。(9:30~12:00). 午前のみ.
- 21 日 (金) ・アルミケーブルの現場試験に伴なう覚えがき案について, 鶴岡常務, 大島技師長に説明.
- 22 日 (土) ・出社.  
・午後, CBC, 新年パーティ
- 24 日 (月) ・電子通信学誌総合報告に「日中間海底ケーブル」を掲載することにつき, 編集委員 若本氏 (NTT 技術局 交換担当調査役) より Tel, あり. 2 月始めまでに, 目次案を送付するよう要望あり.  
・アルミケーブルの現場試験に伴なう覚えがき案について副社長に説明.  
・北欧ケーブルの関係政府 (西独, スェーデン, ノルウェー, デンマーク) の関係者の来日を迎え, 富士通, 伊藤忠, OCC が催したパーティに招かれ出席 (ホテルオークラ)
- 25 日 (火) ・アルミケーブルの現場試験に伴なう覚えがき案 を社長に説明.  
社長より, TPC-1 に障害を起した時, 他が責を負うべきものまで KDD が負担することのないよう, 予め明確にしておくよう指示あり.  
・志村取締役より, 海外駐在についての意向をきかれる.
- 26 日 (水) ・青柳君の海外留学希望先に対するすいせん状の依頼を同君より受け, 永田君に依頼.  
・創業記念日における社外功労者の表彰すいせん上申を作成提出.  
(日中ケーブル関係として, 製造業者, 商社, および塚本氏をすいせん).  
・総企 里見次長より, ASEAN ケーブルにおける KDD 丸等の布設費の概略と KDD 丸の Availability について, 郵政が資料を欲しているので, これを作成するよう依頼あり, 吉田, 石井君に指示.
- 27 日 (木) ・星齒科. 9:30~10:00.  
・資材部長と, アルミケーブルの現場試験に伴なう覚えがきの件で協議.  
覚えがきの方向がでるまで, 委託契約の社内処理を待ちたいとの事.  
・OLUHO の開通式を 7 月初めにしたいとの CW の意向に関し, 布設工事, 試験の日程から可能かどうかを, 志村取締役の下で協議検討, 工事が順調に行けば可能であるが, 日程上余裕を見る必要のあるところから, 7 月下旬~8 月上旬にしたいとの結論となる.
- 28 日 (金) ・総企室より依頼の ASEAN ケーブル布設関係の資料を作成し, 提供.  
・永田シドニー事ム所長, 徳江課長, 江幡補佐らと昼食 懇談.  
・52 年度設備計画を労組へ説明. (16:00~16:20)
- 29 日 (土) 休み. 道下氏, 中込研究所長らとゴルフ.
- 31 日 (月) ・資材部長, 吉田課長と共に, 郵政省 飯島参事官を訪問.  
アルミケーブルの現場試験に関する覚えがきについて協議 (12:00~13:30)  
・Philippine-Singapore Cable の打合せ. (14:30~16:00)  
N, F, OCC, 三井の各社, と KDD 志村, 関, 小林, 亀田, 猪股で, 布設船, システム構成, 円クレジット等につき協議.

## 2月

- 1日  
(火)
- ・電子通信学会，総合報告「日中間海底ケーブル」の目次構成等の案を，若本編集委員(NTT 技術局 交換部門調査役)に送付．
  - ・アルミケーブル現場試験に関する覚えがき について，郵政省と協議した結果を社長，技師長，志村取締役へ報告，了承を得．
  - ・TPC に障害を与える事態が起きてから，紛争を生じないように，充分事前に協議しておくよう，社長，技師長から指示あり．
  - ・NK 合同委の開催について，書記レベルで，話し合い，NTT 側は3月18日(金)を望んでいるので，技師長，志村取締役とも都合よき模様．
  - ・志村取締役より，ASEAN PSC の会合で，Tender の evaluation を行なうための準備をしておくよう指示あり．
- 2日  
(水)
- ・国際通信の研究特集号「日中間海底ケーブルの建設」まえがき 脱稿．
  - ・永田君，シドニー事務所長として赴任のため羽田出発．
- 3日  
(木)
- ・大島技師長に，NK 合同委の首席委員となることの了承を得．
  - ・NTT 長田施設局長 理事就任のあいさつに 来訪．
  - ・志村取締役より，PSC の Tender 評価のため，OCC ケーブルの cost の把握を検討方指示あり，資材部松村課長に，技術課長と協議のうえ，約1週間で検討方依頼．
  - ・星齒科．(12:00～13:30)
- 4日  
(金)
- ・アルミケーブル現場試験に伴う覚えがきの了解事項案について吉田課長と討議．
  - ・学会より執筆依頼の図書「海底ケーブル通信」の原稿作成を進める．
- 5日  
(土)
- ・出社
  - ・NTT 鈴木(欽也)調査役より Tel．  
気象庁，気象研 山川室長より，地震観測用のケーブル系のアースについて KDD に教えてほしいとのこと，7日(月)に来訪を了承．
- 7日  
(月)
- ・気象庁，気象研究所より，山川室長 他 来訪．(13:30～15:00)．  
地震観測のための測定系を御前崎沖合に布設する際の接地のとり方について KDD の意見を求めに来たので，木下課長と応待．
  - ・Phil-Singapore ケーブルの入札書審査における問題点について，マニラでの会合出席予定者間で打合せ(14:00～16:00)  
[志村，亀田，塚田，吉田，松村，石井．]
  - ・NEC 田畑氏 来訪，学会図書執筆について打合せ．  
技術設計と製造との調整
- 8日  
(火)
- ・NEC 斎藤営業部長に Tel．  
ASEAN PSC の入札書について，ETPI/TAS よりガイドラインの詳細を知らせるよう依頼．
- 9日  
(水)
- ・NEC より，ETPI/TAS 作成の入札書に関するガイドラインの詳細を入手．
  - ・A1 ケーブルの布設工事実施に伴ない覚えがきの議事録確認文書案の作成．
- 10日  
(木)
- ・雪．
  - ・里見次長(総企室)より，ASEAN PSC ケーブルに関するマニラ会合の対処方針案について，Tender の評価審査関係を海建で作成するよう依頼あり，了承．  
吉田，塚田 両課長に案作成(15日まで)を指示．
  - ・研究所 佐藤(正紀)君 来訪：中継器回路に関する原稿案の作成を依頼．

- 12 日     ・ 出社.  
(土)     ・ 学会図書の原稿作成を進める.
- 14 日     ・ CTME のデモンストレーションを視察. 4F. 11:00～12:00.  
(月)     ・ NTT 総裁, 副総裁就任祝い(東京会館) 18:00～.
- 15 日     ・ 研究所 新納君 来訪. (9:30～11:00)  
(火)         海底ケーブル方式の伝送方式設計の伝送目標について討議.  
          ・ 星齒科 11:30～15:00.  
          ・ OLUHO TSC-7 出席についての事案決定.
- 16 日     ・ ASEAN PSC マニラ会合の対処方針案の打合せ. (15:30～17:00)  
(水)         大島, 鶴岡, 木村, 志村の各役員, 福地, 尾畑, 亀田, 里見, 塚田の各部関係者出席.  
          ・ 小野田元氏 の 紫綬褒章受章祝. (六本木ろ山)18:00～21:00.
- 17 日     ・ 特記事項なし.  
(木)
- 18 日     ・ ASEAN PSC に対する proposal について, メーカーと打合せ(14:00～15:20)  
(金)         KDD 志村取締役以下 関係者, メーカー, N, F, , O, 三井.  
          三井が Main Contractor としてとりまとめる.  
          契約条件, 技術内容等について, メーカー側と質疑.  
          ・ 技術打合せ会. (15:30～17:30). 技師長, 技術系役員, 関係部長.  
          沖縄中継所の保守体制について  
          継続審議となる.
- 19 日     ・ 出社.  
(土)     ・ 学会図書原稿 執筆を進める.
- 21 日     ・ 吉田, 石井, 徳江君らと, PSC Tender の Check  
(月)     ・ 星齒科医院. 16:30～.
- 22 日     ・ ASEAN PSC マニラ会合の対処方針案について, 役員会審議.  
(火)         福地部長と共に出席, 了承を得.  
          ・ 上記マニラ会合出席の資材部 松村課長 と打合せ.  
          ・ 技術打合せ. (技師長, 技術役員. ). 15:00～17:00.  
          沖縄中継所 保守体制について, 役員会にかけ資料の検討.  
          ・ OLUHO の電氣的布設のための KDD 丸乗船者の激励, 会食. (九州亭).
- 23 日     ・ PSC, マニラ会合 出席者の打合せ. (10:00～12:00)  
(水)         志村取締役 他.  
          ・ 星齒科. 12:30～13:30  
          ・ 研究所 鍛冶副所長, 中井室長と打合せ. (14:00～15:00)  
          NK 合同委員会の準備について, とくに特許情報協定の延長について社内処理をはかるよ  
          う依頼.  
          ・ HK 方式分科会(15:00～17:00). 於 KDD.
- 24 日     ・ OLUHO TSC7 香港会合の対処方針案 役員会審議, 了承.  
(木)     ・ ASEAN PSC の評価に関し, マニラ会合用資料 準備を吉田, 石井, 松村 各氏に指示.  
          ・ NTT 村上技術局次長より Tel.  
          NK 合同委の開催, 議題等について打合せる.

- ・笹本取締役、沖縄保守体制と、OLUHO 保守要領の関連につき説明。  
保守部長より、沖縄保守体制に関し、社長の意向が伝えられる。
  - ・沖縄 出張 17:00 羽田発
- 25 日 (金)
- ・沖縄。  
通信事務所、中継所を訪問。  
関係者とハーバービューホテルにて招宴。
- 26 日 (土)
- ・帰社。
  - ・吉田、石井、松村君らから、PSC マニラ会合の準備状況をきく。  
マニラで開催中の OPS/FIN 会合で回線関係の討議が終ったので、TSC 香港会合に討議をもちこす要なしとのこと。
- 28 日 (月)
- ・上記に関し、回統部 柴田課長の香港出張の是非につき、織間次長、笹本取締役と協議、保守の問題もあるので、出席してもらうこととする。
  - ・マニラ出張の準備。  
社長、技師長、古橋常ム、KCS にあいさつ。
- 3 月
- 1 日 (火)
- マニラへ向け 出発。
- 2 日
- 3 日
- 4 日
- 5 日
- 6 日 (日)
- ・タガイ・タイ、モンテンルパ、マニラ湾の夕日、等の観光。
  - ・マニラより香港へ向う。
- 7 日(月)～10 日(木)
- OLUHO 技小委。
- 11 日 (金)
- ・香港側陸揚局、ヴィクトリアピークマイクロ中継所 視察。  
夜、Tram Car Tour。
- 12 日 (土)
- ・Mr. Powell の Lunch の招待。
  - ・夜、Lee Garden Hotel 岡半にて、Messrs. Chan, Tam を招待。
- 13 日 (日)
- 帰国
- 14 日 (月)
- ・志村取締役役に帰国報告。
  - ・技小委の役員会報告作成について出席者と打合せ。
  - ・笹本取締役役へ TSC における保守関係の協議状況を報告。
- 15 日 (火)
- ・星齒科へ 11:30～12:30。
  - ・研究所 鍛冶副所長 来訪。  
N/K 海底ケーブル合同委員会 について、大島技師長へ資料を説明。
  - ・志村取締役より、マレーシア・シンガポールへの出張に関し、資料の準備を頼まれる。
  - ・金門製作所 斎藤(二郎)氏 来訪。
  - ・河井 保全部長：沖縄 保守体制の件で協議にくる。

- 16 日  
(水) ・ TSC(7)における保守関係の協議状況を, 関係役員, 部長 外の関係者に報告. (14:00~17:00)  
併せて, 労組への説明について協議さる. また, 今後の取組み方を協議.
- 17 日  
(木) ・ 役員会への技小委会合報告の作成を進める.  
・ NTT 村上技術局次長を訪問. (16:30~17:00)  
海底ケーブル合同委員会の会合進行について打合せ.  
・ 成城学園 同窓会: 東京会館. 18:00~20:00.
- 18 日  
(金) ・ 志村取締役より.  
Phil-Sin ケーブルの入札書に対する質問が三井にあり, 埋設関係については, KDD の協力が  
必要なので, 23 日~27 日に行なわれる tender の negotiation に KDD 職員の参加も考え  
たいとのこと.  
NEC 田畑氏に Tel. 要請があれば, 専門家(猪股 Or 杉本)を派遣の用意ある旨を伝える.  
・ 技小委(7)会合の役員会資料を作成.  
・ 海底同軸ケーブル中継方式 第 7 回合同委員会. 16:00~18:00. パレスホテル.  
懇親パーティ席上で, 徳江課長より, 第 2 次布設乗船者の健康診断状況について報告あり.
- 19 日  
(土) ・ 羽田へ, 志村取締役を見送り. (3/19~3/26 マレーシア, シンガポール)
- 20 日  
(日) ・ 技小委(7)の役員会報告資料に別紙 4 が未添付であることに気付き, 吉田課長に Tel し,  
処理を命じる.  
・ 伝送同門会ゴルフコンペ, 浦和.
- 21 日  
(月) ・ 春分の日.  
・ NEC 田畑氏宅に Tel, シンガポールにおける Phil-Sin ケーブルの Tender に対する技術的  
ネゴシエーションについて.  
・ 田畑氏より NTT で開発中の 200MHz 方式について, 国際性がうすく, 国内での需要も少  
ないので, 製造投資上問題ありとのこと. 140MHz なら, 陸上 60M 方式の技術の拡張で,  
投資は少なくてすむので, 好ましいとのこと.
- 22 日  
(火) ・ 技小委(7)の役員会報告: 時間がなく, 次回廻しとなる.  
・ 夜, 竹中君の米国への長期出張に対する送別会.
- 23 日  
(水) ・ 労組超勤拒否に入り, OLUHO ケーブルのケーブル積込み, 布石時の沖縄における終日作  
業に及ぼす影響と, 対策を徳江課長と協議  
・ 星齒科. 医院
- 24 日  
(木) ・ 役員会に, 第 7 回技術小委員会, 香港会合の報告.  
保守要領, とくに, 無人時間帯の設定について, 質疑あり.  
・ 沖縄中継所の保守体制と, OLUHO への労組協力との関連が, 未解決のため, KDD 丸の第  
2 次布設への出航が危ぶまれてくる.  
・ 早朝, TPC-1 にレベル低下が生じたとの情報あり.
- 25 日  
(金) ・ 社外功労者(機器製造関係者等)に対する感謝状贈呈の席に参列.  
(富士通, 日電, OCC, 古河電工, 沖電気, 須田製作所, KCS. )  
・ タムラ電気 三浦宏康氏より, 国際テレックスの加入について Tel.  
知り合いの貿易会社が早くテレックスを設置したいので, 促進が図れないかとの依頼.  
3 月 16 日に申込んで, 5 月中旬になるとのこと.  
機器施設部 石川次長(中内課長)を通じ, 調査依頼, NTT からの伝送路借りを 4 月

- 20日にまとめてするので、普通なら5月中旬になるとのこと。→ 三浦氏に伝える。
- NTT 副島氏より Tel.  
特許等の協定の更新に伴う、運用規呈の検討の依頼。  
特許の通知期間が“6ヶ月を目途”は長すぎるとの意見がNTT内(山内開発部長)にあるとのこと。  
研究所 鍛冶副所長に伝え、検討依頼。
  - 労組へ沖縄保守体制の回答：当面有人2名、合計15名の線を会社側より出す、組合より、4月以降のOLUHO工事 OKとの回答で。

添付資料：報告事項(52.3.19～3.26)

志村取締役殿

52.3.28  
(海)技術部長 亀田

1. OLUHO ケーブル技術小委員会第7回会合(3.7～3.10 香港)の討議状況と結果ならびに香港側陸揚局の視察状況について役員会に報告を行なった。(3月24日)。
2. 上記会合について調整委員会代表へ提出された **Convenor's Report** に対し、CW 代表の Mr.Davies から別添のコメントが送付された。
3. 3月24日午前5時50分、TPC-1の二宮ーグワム間にレベル低下(0.8～1dB)が生じ、全中継器に異常のないことは確認されたが、その後もレベル低下のままの状態であるとの通報を、保全部より受けた。原因は目下のところ不明であるが、回線に影響を及ぼしていないので、レベル調整を行ない、以後の推移を見守るとのことである。
4. OLUHO 開通後の沖縄海底線中継所の保守体制について、会社から労組に対し、当面2名輪番による有人保守とし、夜間無人化の検討をその間に進めるとの意向を示した。労組はこれを了として、OLUHOの建設工事に協力することとなったので、KDD 丸は2次敷設に向け、予定通り3月27日午後3時、横浜から出航した。

- 26日 (土) ・ 出社。  
・ 執務月報。51.12月～52.2月をかく。  
・ 夜、羽田空港に、志村取締役 帰国 出迎え。
- 27日 (日) ・ OLUHO ケーブル OLU 区間の第2次布設工事のため、出航のKDD丸を見送り、15:00 横浜。
- 28日 (月) ・ 志村取締役役に、3/19～3/26の主要事項報告。  
・ 井上取締役、労厚部に、KDD丸出航までの対労組接衝について謝意を表す。  
・ 研 鍛冶副所長 来訪。  
NK間の「特許等の協定」の延長更新の事案決定に関する協議を行なう。  
・ 徳江、細谷両君に、1.7" ケーブルの検討について指示。
- 29日 (火) ・ 学会依頼の技術図書の原稿作成を進める。
- 30日 (水) ・ 星齒科。  
・ 総企室 技術調査 橋次長より、陸揚局の要員調査について問い合わせ、NTTの局について、技術局 鈴木欽也調査役を紹介。



- 31 日 ・ “KDD 丸, 朝 7:00 2 次布設の始端に到着” の連絡入る.  
(木) ・ 学会の技術図書の原稿作成を進める.

#### 4 月

- 1 日 ・ 創業記念日. 帝国ホテルにて式典.  
(金) ・ 30 年勤続表彰.

- 2 日 ・ 出社し, KDD 丸の OLU 区間 2 次布設が順調に進んでいることをきく.  
(土) ・ 午後, 赤坂東京ホテル.

3 日(日)～4 日(月)

- ・ 30 年勤続慰労旅行(伊香保).

- 5 日 ・ 日韓ケーブルに関する建設の基本計画の資料作成方につき, 総企室より依頼さる.  
(火) ・ ITT World Com. の社長夫妻 他の来日に伴う, ITT 側の招宴に出席. (American Club. 18:30～20:00).

- 6 日 ・ 日韓ケーブルの建設基本計画資料について関係者と打合せ. (11:00～12:00)  
(水) 技術課長, 海洋課・施設課補佐.

- 7 日 ・ 日韓ケーブルの建設基本計画資料を作成し, 韓国側の予算資料とするため, 総企室へ提  
(木) 出.  
・ 新納君と, 伝送系の基礎的な問題について討議.

- 8 日 ・ CW Mr. Archer, Mr. Morson KDD 丸から下船し, ロンドンへ帰る途中で KDD に来訪.  
(金) 志村取締役の昼食接待に同席.  
・ 新技術開発推進委員会(第 34 回)に出席. (13:30～18:00).

- 9 日 ・ 出社.  
(土) ・ 学会図書の原稿作成を進める.

- 11 日 ・ 日韓専門家会合報告. (10:00～11:30)総企, 総合計画, 技術計画より(52. 3. 22～3. 29).  
(月) 第 2 通信幹線として, ケーブルを建設することで, 意見の一致をみた.  
・ 陸揚局保守体制の調査報告. (13:30～). 吉田課長に出席指示. (総企室, 技術調査担当)  
・ RFP 方式制定の打合せ(資料部主催 13:30～)松田次長に出席指示.  
・ 総企 渡辺副参事 来訪, 協議. (15:30～16:30).  
「大容量海底ケーブル方式」の開発のための, 調査研究グループの設置について.

- 12 日 ・ 夕刻より電話局 短時間ストライキ.  
(火) ・ 社長表彰を受けた, (海)技, 有シ研の被表彰者の謝礼パーティ. 32F.

- 13 日 ・ 衛星通信調査室 磯村副参事 来訪.  
(水) マリサット海事衛星の開通式における記念通信を 5 月 12 日に KDD 丸と式典会場(都内ホテル)を結んで行ないたいが, OLUH0 の工事との関係上どうなるか.  
その時期は, 第 4 次布設の loading に当るので, KDD 丸を港湾外に出すことは問題があるが, 式典実施にはできるだけ協力したい旨 回答.  
・ 志村取締役より.  
△住友商事を通じ, インドネシアから, 将来のインドネシア・シンガポールケーブルの参考とするため, ケーブル技術(陸揚げ点, システム, 布設等)を知りたい旨の意向があった. これに対応できるか.  
△5 月末までに OLU 布設工事が終るが, それまでは派遣困難, 6 月以降なら可能であり,

2名程度でよいと思う。出張時間は5日～7日、この際協力は惜しむべきでない、と返答。

- ・ NEC 田畑氏 来訪。  
 ・ 機構改正で、海底中継システム開発本部が設置され、その本部長に任ぜられたとあいさつに来る。

- 14 日  
(木)
- ・ 労組 9:00 より、本社(経理、営業)、東報、大話、沖縄中継所で ストライキに入る。
  - ・ 塚田業務課長と、日韓ケーブルの首脳者レベル会議における Memorandum or Under standing について協議。
  - ・ 出張拒否指令が組合より出て、OLU 布設に対する対策を、徳江課長と協議。
  - ・ 社長室渉外担当課長より、衆院通信委員長以下 10 名の通信委員が 4/23～4/25 に沖縄を視察する予定であるが、その折、4/25(月)に沖縄海底線中継所へ立寄るかもしれないとの話しあり。

上部へ諮って応待の仕方を決めるが、海建本部から説明に人を派遣するよう依頼するかもしれないとのこと。OLU の布設中であり、そちらにも関心をもたれるとすれば、海建本部から説明の要ありとのコメントを出す。

- 15 日  
(金)
- ・ 部長会に出席。
  - ・ 衆院通信委員会の沖縄視察に当り、沖縄海底線中継所は視察先から除外されたと社長室渉外担当から連絡あり。
  - ・ 出張拒否により、組合員の KDD 丸乗船、沖縄派遣が不能の状態となったので、管理者でカバーするための対策を路線課長、建設部次長と協議。
  - ・ 国際部長に、同部川角調査役の KDD 丸への乗船応援を懇請。

- 16 日  
(土)
- ・ ストライキ対策協議のため出社。

- 18 日  
(月)
- ・ 海建本部ストライキの指令がでて、8:50 より無期限ストに入る。対策協議(技・建、次課長)
  - ・ KDD 丸 横浜出田町ふ頭出港の見送り。  
 13 時出港し、OLU 第 3 次布設に向う。
  - ・ NTT 石井氏(電子通信学会編集委員)より、総合報告「日中間海底ケーブル」及び解説「埋設工法」の執筆の件につき、電話あり。
  - ・ 宇和野氏来訪

- 19 日  
(火)
- ・ 新川さんより Tel.  
 タイの運輸通信省、郵電局(Post & Telegraph Dept. )の幹部から、バンコククーシングポールケーブルについて、国内 PR をしたいが、来る 5 月 17 日の ITU 記念日の機会に新聞等でキャンペーンをすることを考えている。ケーブル関係の資料が欲しい、との話しがあった。ケーブル関係の歴史、技術的メリット(衛星通信との比較)などを記したものが、KDD にないか。

探してみる旨を答えたが、海協室 高呂次長より追いかけて Tel. あり、新川さんから資料について頼まれたとのこと、協議し、高呂次長から新川さんに返事することとなる。

- ・ 塚田審議担当課長より。  
 電監室 沢田次長、日高、飯島参事官らが、22 日(金)研究所を訪問するが、そのあとの日高氏との懇談について相談を受ける。
- ・ 建設部 次課長、保全三課長 とストライキ妥結後の事ム処理等を協議。

- 20 日  
(水)
- ・ 11 時、ストライキ中止となる。
  - ・ KDD 丸乗員について、組合へ乗船者を通知し、組合の了承後 必要な処置をとる件について、海建、保三、労厚で連絡をとり、無用のトラブルをさけるよう進めることとする。



- ・ NTT 技術局 石井氏(学会編集委員)より Tel.  
埋設工法の解説は、NTT 側は鈴木(欽)調査役を執筆者としたいので、KDD 側の木下海洋課長に、鈴木氏と連絡をとり、執筆案を石井委員に提出するよう、伝えてほしいとのこと。  
了承し、木下課長に伝える。
- 21 日 (木)
  - ・ 陸揚局の保守体制に関する各国の状況調査報告について、竹内技術調査担当部長より志村取締に説明あり、同席(10:00~11:00)
  - ・ 郵政所へ提出の新海底同軸ケーブルの開発報告書(現場試験関係 51 年度分)について、吉田、白井 両君と案を検討。
- 22 日 (金)
  - ・ 松本(一)、矢口 両君から、来週クリマオで行なう 担当者間打合せのスケジュール、打合せ事項について、説明あり、了承(9:20~10:00)
  - ・ 部長会に出席。(10:00~11:15)。
  - ・ KDD 労組、争議体制を解く、争議対策本部 解散。(10 時。)
- 23 日 (土)
  - ・ 休み  
午前、社に寄り、KDD 丸の状況をきく。
- 25 日 (月)
  - ・ 明 4 月 26 日の参院通信委に KDD が参考人として喚問されているので、その質問に対する答弁資料作成。
  - ・ 業務部 管理者の上記資料作成に対する慰労 夜食。
- 26 日 (火)
  - ・ KDD 丸よりの連絡によれば、R85-R86 で漁具(「はえ縄」がルート上にあり、これを排除(ブイ 4 個切断)したとのこと。  
補償等の問題でトラブル発生のないう、ETPI に連絡するため、Mr. Histed に Tel したが、Singapore 出張中のため、contact できず、明日テレックスで、状況と 4 次布設の際の事前措置の依頼(漁船への通知等)を打電することとする。
- 27 日 (水)
  - ・ OLU 第 4 次布設の際 KDD 丸に CW の Mr. J. Powell が乗船する意向を有するか否かを問い合わせるため、案内状を TLX する。
  - ・ ETPI への TLX(漁具排除の件)を作成。
  - ・ 志村取締より、バーレーン-カタール海底ケーブルの consulting に関する調査のため中近東へ 5 月上旬に行くことになったので、資料を準備したいとのこと。
- 28 日 (木)
  - ・ 日韓ケーブルに関する MOC/KDD 間会議(5 月 23 日~)の準備打合せ。(10:00~12:30)  
総企室主催、海建 3 部との打合せ。
  - ・ 志村取締の指示による、中近東ケーブル コンサルティングの資料の準備を進めるケーブル概要の英訳を 末永氏に 庶務を通じ 依頼。
- 29 日 (金)
  - ・ 天皇誕生日。
- 30 日 (土)
  - ・ 出社
  - ・ NEC 田畑氏より Tel.  
リビアのトリポリ-ベンガジ間(約 370nm)ケーブルに、36M 方式を入札に出したい、  
布設に KDD 丸の使用が可能かどうか-1979 年中旬(6 月~8 月)  
なお、リビアは VT 伝送を希望しているので、日本方式は極めて有力である。船は、英、仏、NTT にも当たったが、難しそうである。
  - ・ 遠隔地であること、時期的に他のケーブル計画もありそうなこと、太平洋域の保守に対し KDD 丸のウェイトが大きくなってくること、から難しいと思うが、KCS 小林部長にも意見を聞いてみたらどうか、と回答。

## 5 月

- 2 日 (月)
- ・ 中近東 アラブーカタールーバーレン間ケーブル コンサルティング資料の準備.
  - ・ 海底ケーブル通信の英訳文(末永氏による)の検討.
  - ・ システム長とシステム建設単価の関係―業務部 今井氏に依頼.
  - ・ システム規模と経済性の検討. ―細谷君に検討指示.
  - ・ 技術部 副参事の 51 年度下期管理記録を担当役員に提出.
- 4 日 (水)
- ・ 松本(一夫), 矢口両君から, クリマオ局での担当者打合会議の報告. (10:30~11:30).
  - ・ ジュネーブ事務所へ駐在の件につき, 志村取締役より意向を問われる.
- 6 日 (金)
- ・ 志村取締役より.
  - Philippine-Singapore ケーブルの入札は STC に落ちた旨の情報が, 三井よりあったとのこと. 5 月下旬か 6 月上旬に ETPI/TAS が会議を招集するようだが, KDD は如何なる態度で臨むか, 提出された Tender をみせるよう要求するか. 投資について, IRU の取得ですませるか, 後のことを考えて, 投資参加すべきか.
  - ・ 中近東ケーブルコンサルティング資料の作成了, 志村取締に提出.
  - ・ 日韓ケーブルのルートにつき, 直江津へのルートも比較検討すべきであるとの志村取締の意向により, 業務部と共同で作業することとなる.
- 7 日 (土)
- ・ 出社.
  - ・ 志村取締役, 中東へ出発.
- 9 日 (月)
- ・ 日韓ケーブル.
  - ① 浜田ルート, 直江津ルートの建設費比較検討を石井君に指示.
  - ② 日韓ケーブル会議の対処方針案の検討打合せ. (総企 主催) 16:30~18:40
- 10 日 (火)
- ・ 日韓ケーブルの浜田ルートに対する埋設の可否につき, 建設部 関係者と協議 (10:00~10:40)
  - ・ 総企室より, 5 月下旬開催予定の日韓ケーブル会議は, 韓国側の都合で 6 月下旬に延期となろう旨, 連絡あり.
  - ・ 衆院逋信委における質疑答弁用資料準備のため, 待機 (~20:30)
- 11 日 (水)
- ・ 国会衆院逋信委, 延期となる.
- 12 日 (木)
- ・ マリサット衛星による通信開始記念行事に接待役として参列.
  - ホテルオークラ, 16:00~19:00.
  - 横浜山下ふ頭の KDD 丸と会場間の記念通話が行なわれる.
- 13 日 (金)
- ・ クリマオ出張の, 松本(一), 嶋谷, 矢口, 関根君らと会食.
  - ・ 研究所 管理課 山口社員へ, 学術会議の選挙有権者資格のことで連絡.
- 14 日 (土)
- ・ KDD 丸 OLUHO 第 4 次布設へ横浜出港 (15:00)
  - 新山下ふ頭へ見送りに行く.
- 16 日 (月)
- ・ 学会図書原稿作成を進める.
- 17 日 (火)
- ・ KEC 図書の原稿執筆について, 松田, 吉田, 徳江君らと打合せ. (17:30~19:00)
  - ・ 星齒科.

- ・参院通信委における質疑答弁資料作成のため待機。  
海建本部 関係質問なし。
- 18 日 (水) ・ KDD 丸が OLU 布設工事終了後、沖縄にて乗船者慰労パーティを KDD 主催で催す件につき、KCS 森社長に了解を求める。
- 19 日 (木) ・ 学会図書原稿の作成を進める。
- 20 日 (金) ・ 中東出張より帰国の志村取締役を羽田に出迎え。11:00、安着。  
・ 新海底同軸ケーブル方式 開発会議・推進連絡会 合同会合。  
14:00~16:30、於 郵政省。  
大島技師長とともに出席。  
・ CBC 定例に出席。
- 21 日 (土) ・ 出社  
学会図書の原稿をかく。
- 23 日 (月) ・ 日台ケーブルに関し、総企室の要請で緊急打合せ 11:00~12:00 関、阿部、亀田出席。  
外務省の意向で、KDD の方で調査或いは、台湾との交渉を進め、実績を作り上げてゆくことが望ましいとのことで、海洋調査の実施見込み、建設の所要期間、建設システムの規模等を固め、台湾側と会合をもち、基本的合意に達するよう進めることを考えている、とのこと。  
その線で本日午後郵政省と協議するとのこと。  
海洋調査の早期実施について、KDD 丸しか Available な船はなさそうであるが、7 月以降なら可能であろうと回答。  
・ 山田 KDD 労組委員長母堂死去、告別式に参列後、故原田氏の一周忌に回向。  
(13:00~15:30)。
- 24 日 (火) ・ 研究所 中井室長と KEC 図書原稿作成の打合せ。10:00~11:00。  
・ 星齒科 (15:00~16:30)。
- 25 日 (水) ・ 柴田、小林、細谷 君と会食。  
・ アブダビ・カタール・バーレン ケーブルの consulting について打合せ。(14:00~15:30)  
志村取締役、阿部、吉田、猪股、石井。  
consulting に対する Invitation が来た時、回答できるように準備を進めることとなる。  
取まとめは海外協力室で行なうこと、(海)業務部も参加する必要があること、必要とあれば、専門要員を海協室に移してもよいことなどの意見を述べる。  
・ 海建本部の要員と組織について 志村取締りに建言。
  - ・ 日台・日韓等のプロジェクトを建設するための要員。
  - ・ 組織に対する検討。
  - ・ 削減要員の異動先
  - ・ 3 類から副参事へ昇格の適格者リスト。について、案を提出することとなる。
- 26 日 (木) ・ 沖縄 出張。  
13:35 発 全日空 85 便で沖縄へ。  
16:20 那覇着。  
ホテルで check in 後、中継所へ向う。  
最終接続のため、沖縄側ケーブルを回収中、ケーブルにすり傷が生じた模様でその修復を行なうとの状況を見た後ホテルへ戻る。

最終接続のため、クリマオ側ケーブルを回収時に、引揚げ用のスコープケーブルを切断し、ケーブルを海中に逸したため、27日早朝より、これを探線するとの報が、徳江課長より入る。(24:00)。

- 27日 (金) ・中継所へ。  
探線箇所. について、KDD 丸への指示を検討し、志村取締役の了承を得て、指示。  
・13:00より探線開始。  
・夕刻ナハへ戻り、技術課・線路課の連中と食事。
- 28日 (土) ・中継所にて、最終接続状況を見る。  
・夕刻、一旦ナハに戻り、沖縄へ着いた 石谷課長と会い 慰労パーティの打合せ。  
・再び、中継所へ戻り、最終接続、最終投入まで状況を見る。  
29日 01時21分 Final Splice 終了。  
02時12分 最終投入。  
02時25分 ケーブル系に異常無きを確認し、KDD 丸 離脱。  
・中継所にて、簡単に、工事終了を祝い、ホテルへ帰る。(03:30)。
- 29日 (日) ・午前中 ホテルで休養。  
・午後、中継所長、中川調査役と、ゴルフ。
- 30日 (月) ・午前：沖縄通信事務所へあいさつに寄る。  
午後：中継所にて、システム試験状況を見る。
- 31日 (火) ・那覇 安謝新港にて、入港の KDD 丸出迎え。10:00～  
・ホテル エッカにて、KDD 丸乗船者の慰労パーティを主催。18:00～20:00。
- 6月
- 1日 (水) 帰着。
- 3日 (金) ・CW Messrs. Stone, Borton KDD 丸より下船し、ロンドンへ帰る前に来訪。  
昼食接待。(天一)。  
・部長会出席。  
・日台ケーブルに関する打合せ。(13:30～16:00)  
総企画主催。福地参与、近藤課長、武藤補佐。  
海建 亀田、塚田、木下、高橋(敏)。  
法務室、武南。  
・KDD/CGRA 間の了解覚書に関し、打合せ。
- 4日 (土) ・日台ケーブルの状況につき、志村取締りに報告。
- 6日 (月) ・三井物産、水野、中西 両氏 来訪(9:30～10:10)  
ケーブル情勢と、メーカーの体制について。  
・定期健康診断。  
・日台ケーブルに関し、建設費の算定、台湾側陸揚局の建設に対する要求条件等の資料の準備を石井君に指示。
- 7日 (火) ・星齒科。

- 8 日  
(水) ・学会図書執筆に関する打合せ。(14:30～18:00)  
志村, 樽松, 鈴木(欽也), 田畑, 木下, 江副, 松田.
- 9 日  
(木) ・クリマオ局の OLU 区間用 PFE の点検について, 阿部, 高橋君と協議.  
ETPI からの申し入れによるメーカー要員の派遣等につき, どのように同意するかを検討.  
・海協室より, 衛星関係の研修に来日中のカタル技術者に, 海底ケーブル関係の講義方の  
依頼あり, 柴田調査役を指名し, これに当らせる.
- 10 日  
(金) ・クリマオへ出張の 京極, 高井両君の激励, 昼食.(住友ビル.)  
・日台間ケーブルの建設に関する打合せ.(15:30～17:00). 総企室 主催.  
鶴岡, 木村, 志村の各役員, 総企, 国際, 法務, 海建の各室部長, 出席.  
・KDD 東北大 同窓会.
- 11 日  
(土) ・学会図書の原稿作成を進める.
- 13 日  
(月) ・研究所 佐藤(正紀)君に学会図書, 中継器回路の原稿作成を依頼.
- 14 日  
(火) ・日台ケーブルの建設費の見直し, 総企室, (海)業務部 関係者と打合せ.
- 15 日  
(水) ・星齒科.  
・午後より 出社.
- 16 日  
(木) ・ガルフケーブル(アブダビーカタルルーバーレン)のコンサルティングの新聞記事に関連し,  
コンサルティング費用の検討のため, パラグワイ等の協力状況の調査を松田君に指示.  
・住友電工より 来訪. 通信事業部 通信機器技術課 佐藤氏ほか.  
ソ連への CS-5M 方式の輸出に伴ない, 埋設用嚮導装置の KDD 特許について, 製造のため,  
いかなる実施条件にするか.  
KDD 特許部門と話し合ってもらふこととする.  
・以前に, 住友電工自身が許諾を得て製造使用したときは, 使用距離に応じた実施料  
を払った. 今回は, 製造し, NEC へ納入する形となるので, どうなるか
- 17 日  
(金) ・OCC 滝鼻, 玉置 両氏, 志村取締役を来訪.(10:00～11:00)  
52 年度大河内賞のすいせんを依頼.  
OLUH0 における 1.5" ケーブル製造をテーマにし, OCC 側で草案をつくり, KDD と協議  
することとなった.  
・富士通 奥村氏 来訪.(16:00)  
CS-5M 中継器の利得上昇について, 線路課と検討中とのこと.
- 20 日  
(土) ・学会図書打合せ.(14:00～16:30).  
執筆者間で, スケジュール, 章間の調整等を打合わせる.  
・NEC 田畑氏と懇談  
1. システム, 等の開発ヒについて.  
・NTT は, メーカーのシステム輸出を承認したとき, とくにそのための開発費・技術費  
はとらない, ただし, 特許料, ソフトウェアの費用はとる.  
・NTT 通研では, 開発費は損益なので, とく別の回収方法はない.  
・メーカーでも, 製品価額の何%が開発費か, 明確でない.  
・ベルのように, BTL が成果を WE に買い取らせているときは, WE が製品に開発ヒを  
含ませられる.

## 2. Rep. の 製造期間

材料部品の仕込み，高信頼化に 5.3 ヶ月を要し，組立以降は台数に比例するので， $n$  台  
 つくるには，製造期間  $= 5.3 \text{ ヶ月} + n/12 \times 20 \text{ 日}$

- 21 日 (火) ・日台ケーブルの方式容量の検討：CS-5M か CS-12M か。  
 ・NEC 北爪氏 来訪。
- 22 日 (水) ・OLU ケーブル 4 次布設の最後の段階で起きた trouble について，社長の耳に入り，状況の  
 報告をつくることになったとのこと。  
 ・KCS 社長の招宴(ひる．京王プラザホテル)。  
 上記の件，専ら話題となる。
- 23 日 (木) ・星齒科．10:00～  
 ・日台ケーブルの方式容量の検討，CS-5M と CS-12M について。  
 経済面，技術面から検討：関部長，今井補佐，吉田課長らと協議。
- 24 日 (金) ・保全部長より Tel.  
 アラスカケーブル障害発生(21 日)し，KDD 丸の availability について ATT より問い合わせ  
 があったとのこと。  
 日台ケーブル，東西マレーシアケーブルの海洋調査が予定に上っているが，確定してい  
 るわけではない状態を説明。  
 太平洋の保守が優先であろうということになる。
- 25 日 (土) ・週休：学会図書原稿作成を進める。
- 27 日 (月) ・日台ケーブル計画に関する打合せ．10:00～12:00．13:30～17:00。  
 福地参事が訪台し，ケーブル建設に関する了解覚書について意見交換してきた模様の報告  
 あり，各条項について，関係者間で討議。(総企，国際，海建，法務。)  
 ・NEC 田畑氏，東西マレーシアケーブルの技術調査に関し，説明に来訪したが，会えず。  
 ・志村取締役より，社長の意向で，小生が KCS 役員になることがあるかも知れぬとの話あり。
- 28 日 (火) ・研究所 有シ研 佐藤君 来訪。  
 学会図書，中継器回路の原稿案持参。  
 ・日台ケーブル，関係役員，部長 打合せ。(15:00～16:30)  
 大島技師長，鶴岡常務，木村常務，志村取締役。  
 福地参与，国際部，法務室，資材部，(海)各部，関係者，社長室長。  
 ・方式：CS-5M とすること。  
 ・完成期日：1978 年(53 年)末を目標にすること。  
 ・機材調達を急ぐため，メーカーに接触すること。  
 等が決きまる。  
 ・宇和野君 来訪。
- 29 日 (火) ・日台ケーブル，機材調達について打合せ。(10:00～12:00)  
 資材部 高松，松村。  
 海建 関，塚田，亀田，吉田。  
 ・資材部としては，競争入札が原則となるものとする。とのこと。  
 ・志村常務取締役より，N，F，個別に日台ケーブルについてメーカーの意向打診に同席。  
 N：斎藤(文)部長  
 F：新川顧問，関川，山口。
1. 極秘扱いにすること。



2. 台湾側とメーカーが接触している状況.
3. 製造所要期間と、初動の条件.
4. 協力体制.
  - ・ KDD 株主総会.

- 30 日  
(木)
- ・ 日台ケーブルの機材調達を早期に進める件について、関係役員打合せ
    - ・ 鶴岡副社長、古橋常ム、志村常ム、福地取締役.
    - 関、亀田、松村.
    - ・ 志村常務より、メーカーとの意見交換の模様を説明.
    - ・ N を Main にし、N, F, OCC で協力体制をとらせる.
    - ・ 直ちにメーカーが製造に入るよう、進める.
    - ・ 発注促進のため、台湾との技術打合せを早急に行なう.
  - ・ 以上につき、鶴岡副社長、福地取締役より社長に説明、了承を得る.  
技術専門家派遣についても、志村常務より説明、了承を得る
    - ・ 調達のための社内処理は、文書を直ちにつくり、持ち回り役員会で処理.
    - 社長室 総務課が事務処理をする.
  - ・ 文書作成について、資材部、総企とある打合せ.  
もとなる、計画の推進についての決定文書を総企でつくり、それを受けて発注、技術専門家の派遣の文書処理を進めることとする.
  - ・ 志村常務より、台湾との技術事項協議に、行くように指示あり  
木下、吉田を同行させることとする.

## 7 月

- 1 日  
(金)
- ・ 部長会.
  - ・ 富士通 磯部、日電 衣笠の両氏、東西マレーシアケーブルの技術調査の報告に来る。(松田君、建設部関係者にきいてもらう)
  - ・ 日一台ケーブル了解覚書案について、郵政省との打合せ結果を審議のため、関係部間打合せ。(14:00~)
  - ・ (福地取締役、国際部、法務室、総企技計、資材部、経理部、海建各部.)
- 2 日  
(土)
- ・ 日一台ケーブルの技術打合せに関する連絡について、総企室(武藤補佐)に、台湾側へ伝えるよう依頼.
    1. 会議開催期日：出張手続、ビザの取得に1週間かかるとみて、11日以降となりそうである。台湾側の都合はどうか.
    2. 連絡方法：技術的事項についての連絡は、どこへすればよいか.  
point or contact.
- 4 日  
(月)
- ・ 訪台中の福地取締役より関部長に Tel あり.
    1. ケーブル完成期日。1979年初頭を 1978年末と改められぬか.  
台湾側は、78年末を強く希望.
    2. ルートサーベイに、台湾から5名の参加が可能か.
      - ・ 志村常務のところで協議.
    1. は、困難であるが、検討して回答
    2. は、KDD 丸に余裕はあるが、台湾 People の乗船に外交上、手続き上などから問題がないか、検討のうえ回答.
  - ・ CW. Mr. Davies から志村常務に Tel.  
OLUHO の last Coordination Committee を 8 月 30 日(月)、香港で開きたいがどうか.  
(技術としては、保守用物品の追加手配の問題あり)
  - ・ 富士通 新川、関川、山口、三村、各氏、志村取締役のところへ来訪。(11:00~)  
日台ケーブル用機材の製造期間、分担等につき、協議.
  - ・ 東西マレーシアケーブルの feasibility 調査に松田、江幡両君を派遣することとし、指示.

- 5 日 (火) ・ 沖縄－台湾ケーブル、の機材発注見積りのための仕様説明(14:00～16:00)(資材部主催)  
 1. N, F, OCC 各社に、概略仕様と数量を説明。  
 2. N がとりまとめるよう指示。  
 3. 各社の分担の原則を示す。  
 4. 希望納期を示す。  
 5. 以上により、7 月 12 日までに見積書の提出を依頼。
- 6 日 (水) ・ 台湾における技術基本事項の打合せ会合の対処方針案を作成。  
 ・ 台湾より帰国の福地取締役より、台湾側が技術打合せの早急開催を望んでいるとのことで、対処方針は、事案決定処理としたい旨、志村取締役より、社長の了承を得ることとする。  
 ・ 台湾出張の手続きを進める。  
 ・ 星齒科。
- 7 日 (木) ・ 富士通 三村、関川、奥村、各氏 来訪。  
 ・ 沖－台ケーブルの N, F 間機材分担について、F より説明を求められる。  
 ・ 端局については、切り方はいくつもあり、不可能ということはないが、製造中の作業の難易、製品の品質、製造期間、保守について問題が全くないことが前提である。  
 ・ 中継器、等化器を多くとることで了解してほしい。  
 ・ 次のプロジェクト(日韓、沖縄－本 等)について、考慮はあろうが、責任を持って、約束するわけには行かない。  
 ・ 沖－台ケーブルの建設に伴う子会社の設立等について、労組へ説明。(16:10～16:30)  
 ・ 会社側。社長室労厚部長、海建(亀田、関、阿部)、(労厚部主管) 総企近藤課長。  
 ・ 夜、OCC 招宴(32F)
- 8 日 (金) ・ 沖－台ケーブル、技術事項打合せ会合の対処方針の事案決定処理を進める。  
 ・ 富士通 三村氏より Tel。  
 N, F 間で、沖縄－台間ケーブルの機材製造分担について話し合いがまとまったので、11 日(月)に、了解を求めに来るとのこと。  
 新川さんからも、よろしくとの Tel, あり。  
 ・ 三井ビルクリニックにて、コレラの予防注射を打つ。(1 回目)。  
 ・ 沖－台ケーブル技術打合せ会合の準備打合せ(亀田、木下、吉田)。16:00～17:00。  
 ・ 沖縄中継所の保守要員増のため、海建本部より組合員を出す件。小林(達)、または三原両君の何れかを、本人の希望に沿う配転なら了承してもよい旨、松田君より職員部へ回答させる。
- 9 日 (木) ・ 日本電気 田畑氏の来訪を求め、台湾におけるケーブル陸揚点の状況をきく。
- 11 日 (月) ・ 学会図書打合せ 9:30～11:40 30F KCS 会議室。  
 志村常務、樽松、鈴木(欽)、江副、木下、松田。  
 ・ 大島、鶴岡両副社長、板野社長に台湾出張のあいさつ。  
 ・ 夜、志村常務による鈴木(宙)建設部長の歓迎宴に出席。
- 12 日－台北 出張、吉田、木下 両君を同伴。  
 (火)
- 13 日(水)～15 日(金) 沖縄－台湾ケーブルの技術事項打合せ。
- 16 日 ・ CGRA 孫氏の案内で花蓮へ行く。



(土)

17 日  
(日)      ・ 帰国

18 日  
(月)      ・ 志村常務，福地取締役は帰国報告．台湾側の準備状況説明．  
・ 役員会へ報告する資料の作成を進める．

19 日  
(火)      ・ 日大鶴岡教授より，金門製作所へ学生就職の依頼．  
・ 筑紫氏より Tel.  
・ 海底線建設委員会(15:00～17:00)  
日韓ケーブルの会議対処方針の審議．  
・ 臨時部長会．(18:30～19:30)  
本社組織変更について，社長室より説明あり  
海建本部は，3部6課より2部4課となる．

20 日  
(水)      ・ 日韓ケーブル会議 に対する 関係部間 打合せ(10:00～13:00)  
福地取締役，国際部，資材部，総企，海建 各部．  
・ 対処方針(案)．  
・ 会議資料．  
・ 会議の進め方 etc.  
・ OCC 玉置，斎脇両氏来訪．(13:00～13:40)  
52年度大河内賞に対するすいせん依頼について．  
草案を持参したので検討することとし，8月上旬 KDD/OCC 間で打合せることとする．  
・ 星齒科(15:00～16:30)  
・ 本社組織変更について，海建本部 副参事以上に説明．(9:30～10:00)．  
・ 海建本部の改組に伴う，分課分掌について，各課長と打合せ，技術関係については，  
線路課の所掌の分割に対し，検討方向を指示．  
・ 横浜みなと祭りの花火大会，KCS の招待で KDD 丸船上で見物．(19:00～21:00)

21 日  
(木)      ・ 台北における沖一ケーブル技術打合せ会合の報告を役員会で行なう予定のところ，  
社長指示で単に役員配布でよいこととなる．  
・ 沖一ケーブル技術打合せ会合の模様を，関係各部に説明のため打合会を主宰．  
(13:30～15:00)総企，資材，経理，(海)業務・建設．  
・ 社長より，日本アジア海底ケーブル(株)の取締役・工務部長の内命を受ける．  
KDD の現職と兼務でよいとのこと．  
・ 社長室監理課長より NASC の創立総会，取締役会を7月25日に行なうとの連絡を受ける．  
・ NASC への出向の内示，木下，石谷，今井君らにでる．

22 日  
(金)      ・ NEC 田畑氏 来訪．  
学会図書原稿，(中継器の製造の項)を受けとる．  
沖一ケーブル技術打合せ会合の模様を話す．  
・ 部長会．  
・ NASC の設立に関し，郵政省が認可(7月21日)した旨の新聞発表，各紙にでる．  
・ 安藤電気 鈴木営業部長 来訪．  
・ 本社機構改革に伴う，海建本部の所掌について，課長レベルの打合せがあり，その際に  
要員の話がでたとの報告を吉田君より受ける．  
直ちに要員について検討し，志村常務に報告．

23 日  
(土)      ・ 出社．  
・ 総企 近藤課長より，中国外務省より北京の大使館に，沖縄一台湾ケーブルに反対の意向が

示された旨、日本外務省に連絡あり。急遽外務省、郵政相、KDD(福地取締役、鶴岡副社長)で打合せとのこと。

- ・深夜、福地取締役より Tel.

沖一台ケーブルについて、外務省より、中国との問題が出たので、子会社の発足を延期するよう要請あり、についてはKDD 丸による海洋調査も一時延期の運びとするかどうか相談あり、そのような情勢で、行動を起すのは不適當であろうとの意見を述べる。日曜日に、諸対策について関係者間で協議したいとのこと。

24 日 14:00 榎本秘書役より Tel あり、会社へでる。

- (日) 福地取締役、社長室長、広報室長、総企近藤、社長室高瀬監理課長、広報佐脇課長らと、NASCの創立総会延期に関する問題、海洋調査延期に伴う措置、台湾側への通知など話し合う。
- ・上記の件、志村取締役へ Tel 報告。

- 25 日 (月)
- ・沖一台ケーブル海洋調査の延期の措置をとるよう建設部と協議し、福地取締役から子会社設立の遅延により、了解覚えがき署名のための NASC 関係者の訪台は 29 日の予定より遅れる旨、台湾側に通知後、措置することとする。
  - ・午後、福治取締役が台湾へ連絡をされたのを確認後、CGRA の Mr. Yang へ国際電話し、海洋調査のための KDD 丸出航は遅れるので、29 日に予定していた台湾からの参加者 6 名の訪日を待ってもらよう伝える。(14:45～)

- 26 日 (火)
- ・日韓間ケーブル会議始まる。(10:00～)。
  - 夜、般若苑にて、韓国体表団の副社長招宴。

- 27 日(水)～28 日(木)
- ・日韓間ケーブル会議。
  - ・志村常務より、第 2TPC の計画当時の議事録、文書の取揃え、および、ASEAN ケーブルの現状と、円借かん対象等の資料を求められ、石井君に作成依頼。

- 29 日 (金)
- ・日韓間ケーブルの海洋調査を 10 月に行ない、また陸揚地調査を早急に開始するため、了解覚書に類する基本取極を韓国との間に取交さないでこれらの実施を進める件につき、関係役員、部長間で打合せ。(11:00～12:00)
  - 木村常ム、福地取締役、尾畑、関、亀田、鈴木、池田 各部長、近藤課長。
  - ・ミニッツの審議(16:00～18:30)
  - ・福地取締役主催のパーティ。(32F)

30 日 (土) 休み

## 8 月

- 1 日 (月)
- ・海建本部の組織替えに伴う、要員編成について、常務、建設部長と協議。
  - 後、職員部へ案を提示。
  - ・星齒科。
  - ・徳江、江幡両君と電氣的布設原稿について討議。

- 2 日 (火)
- ・技術部主任以上を集め、ケーブル計画の現状、組織変更などについて話す。(10:30～12:00)
  - ・総企、近藤課長より、日韓ケーブルの海洋調査、陸揚地選定について、社内的にどう進めるかの協議あり。
  - 総企室が、関係部門に呼びかけて進めるよう advice。

- 3 日 (水)
- ・志村常務より、ケーブル関係の開発問題について、社長～大島副社長間の話しとして、ケーブルシステムの経済化に関する検討を早急に進めるよう、社長の指示があったとのこと。

- そのほかに、埋設修理工法、布設方法についても早急に検討を行なう体制をとるよう副社長から話しがあったとのこと。
- ・上記に関し、将来のケーブル方式の開発調査を進めている総企室渡辺副参事と懇談。また、これに参加している吉田課長と討議。
  - ・線路課 小林達郎君の東回統への転出に対する送別会。
- 4 日  
(木)
- ・日本アジア海底ケーブル(株) (NASC) の設立総会を来る 8 月 8 日(月)に開くことになった旨、社長室監理課長より Tel 連絡あり。
  - ・作業開始を見合せていた沖一台間の海洋調査計画と、東西マレーシア、および日韓間の海洋調査計画との全体スケジュールを建設部に検討してもらう。
  - ・福地取締役、NASC 発足後、海洋調査、機材仲達等は、実施に移してよいか否かを質したところ、実行面は暫らく待つとのことの方針とのこと。
  - ・その対応策について、明日、関係役員、部長間で協議したいとのこと。
  - ・以上の状況を志村常務宅に Tel 報告し、また建設部長に Tel 連絡。
  - ・富士通 関川、山口、奥村、三村氏ら 来訪。
    - ・日韓ケーブルの製造については、F 社を main にしてほしいとのこと。
  - ・まだ計画段階で、建設が定まったわけではなく、日韓間の合意が成立してからの問題であると回答。
  - ・この機会に、システムの経済化の問題について意見を交換。
- 5 日  
(金)
- ・沖一台ケーブルの今後の進め方について、の打合せ。  
両副社長、志村、古橋 両常ム、福地取締役、高松、関、亀田、鈴木 各部長
    - ・機材調達は 一時中止。
    - ・海洋調査は 8 月の実施は見送る。11 月に可能となれば実施。
  - ・台湾 Mr, Yan への TLX 案 検討。
- 8 日  
(月)
- ・日本アジア海底ケーブル(株)。(NASC)創立総会。10:00～。  
取締役役に選任さる。  
取締役会。  
大島、鶴岡副社長 他役員にあいさつ、廻り。  
増田社長、福地監査役と訪台の人選協議。
- 9 日  
(火)
- ・増田社長の訪台手続 打合せ。
  - ・板野 KDD 社長、古池会長に、増田 NASC 社長に随い、あいさつ。
  - ・星齒科。
  - ・NASC 出向職員の発令。
- 10 日  
(水)
- ・ケーブルシステムの経済化について打合せ。(9:30～11:00)  
研究所 鍛冶副所長、中井室長、吉田、徳江、松田。
  - ・NASC 職員の発令。
  - ・NASC 全員に対し、KDD 総企室より、NASC 設立の経緯、目下の懸案事項の処理状況など説明
  - ・吉田、石井 両君と懇談
- 11 日  
(木)
- ・本社組織改正に伴なう、人事異動発令(社長室関係)
    - ・海建本部 技術部長より 海建本部 海底線部長となる。
    - ・KEC 木村理事長、KCS 役員に、NASC 役員に就任と併せてあいさつ。
  - ・OCC 玉置、斎脇、成川氏 来訪。(14:00～16:00)  
大河内賞のすいせん文書に関し、打合せ。
  - ・NASC 増田社長に、7 月に台湾と打合せた技術会合の模様を説明。  
併せ、東西マレーシア計画の海洋調査に、木下君を KDD 要請により参加させることにつき、

- 社長の了解を得る。
- ・職員部人事(16日付)の内示。
  - ・尾畑部長より、OLUH0 調査委員会(第7回)について、協議あり、技術小委の状況を説明。
- 12日  
(金)
- ・日韓ケーブル陸揚調査候補地について打合せ。(11:00~12:00)
  - ・志村常ム、海建本部関係者。
  - ・訪台準備。台湾への土産品、等。
  - ・OLUH0 調査委における技小委の報告に関し、石井君に指示。
    1. 対処方針に技術関係の状況を入れること。
    2. Mr. Powellに残った問題(Maintenance 関係)の取扱いに関し、どうするかの telex。
  - ・日韓ケーブルの陸揚地選定調査につき、福地取締に意向打診。  
山口県を無視できないことの感触を得る。
- 13日  
(土)
- ・コレラ予防注射。(副都心クリニック)。
  - ・志村常務に、日韓ケーブル、陸揚候補地の選定調査に際しての山口県の扱いに関し、意見具申、山口県海岸が不適であるか否か、実地に確かめる必要ありとのこととなる。  
なお、海底線部への改組により、線路課がなくなったことに対する、労組等の疑問もあるとの話あり、職員が discourage しないように仕事を考えることとする。
- 14日(日)~17日(水)
- ・台湾出張。(NASC 役員として、増田社長に随行)。
- 17日
- ・帰着。
- 18日  
(木)
- ・10時 出社。
  - ・鶴岡副社長より、招集がかかり、総企室、資材部長、国際部長、広報室 佐脇君ら集る。  
昨日、郵政省監理官らと話し合った結果、沖一ケーブルの機材調達、海洋調査等の作業を開始してもよからうということになった旨、副社長より話があり、今後のスケジュールについて、資材部長と協議することとする。
  - ・安藤電気 岡村社長 来訪。
  - ・松田、猪股、杉本君らに、海底線部の仕事の配分に対する考え方を説明。
  - ・増田社長に随行し、KDD 板野社長、古池会長に帰着のあいさつ。
  - ・資材部と、沖一ケーブルの機材調達について協議。
  - ・大島副社長に台湾より帰着のあいさつ。
- 19日  
(金)
- ・OCC(玉置、斎脇氏ら)と大河内賞のすいせん文書について協議。(9:30~10:30)。
  - ・NASC 今井、木下課長らと今後のスケジュールを協議。(15:00~16:10)。
  - ・志村常務に台湾より帰着のあいさつと報告。(14:00~14:50)
  - ・星齒科(16:20~17:30)。
  - ・松田、江幡君より、OLUH0 のパイロット・レベル変動の調査報告を受ける。
- 22日  
(月)
- ・学会図書打合せ。(9:30~13:00)。
  - ・沖縄~台湾ケーブル、機材調達について資材部の考え方を質すこと、および TPC-3 の lead time について検討することを、猪股、石井両君に指示
  - ・NTT 鈴木(欽)君に、OCC に対する大河内賞のすいせんについて、NTT に話しておくことの協議：OCC 玉置氏より鈴木君に話すようにする。
  - ・海底線部打合せ。(16:20~16:40)。  
部員全員に対し、今後の仕事とその進め方を話す。
  - ・東北大 佐藤研 長沢氏より Tel。  
佐藤教授が学術会議に立候補するので、よろしくとのこと。

- 研究所 横井次長に Tel し、支援を依頼。  
・ 8/28～9/1 の香港出張に関し、JTB 来訪。
- 23 日  
(火)
- ・ 石川 保全部長に、OLUHO ケーブルの保守要領の作成について協議。  
作成完了までは spare plant の協議も含め、CW、ETPI との接衝は海建本部で扱いかい、一般保守は保全部で処理することとする。
  - ・ 沖一ヶケーブルの建設スケジュール作成について、技術課長と協議。
  - ・ 日韓ケーブルの陸揚地調査計画の事案決定処理を進め、海建本部より松田、杉本、松本(誠)を出すこととする。
  - ・ 上記について、志村常務に説明。  
常務より、板野社長へ話をされ、山口県海岸は岩が多いが、よく調査してくる旨説明したとのこと
- 24 日  
(水)
- ・ 学会図書原稿読み合せ。(9:30～12:00) 第7章、第8章について。  
江副、木下、鈴木(欽)、松田。
  - ・ 海底線部管理者と、仕事の担務について打合せ。(14:20～15:00)
- 25 日  
(木)
- ・ シドニー事務所より Tel、あり。  
村松君の予定、10 月中旬に後任の原田君が着任するので、村松君の帰国は 10 月下旬になる見込みとのこと。
  - ・ 午後 郵政省電監室訪問  
総企近藤課長、国際部林協約課長、(NASC 役員として)NASC 今井課長。  
郵政省側、米沢、白井参事官、小林、阿部副参事官 ほか
  - ・ NASC/KDD 間の基本協定、建設に関する今後のスケジュール等を説明。  
KDD の受託について会社法に基づく業務として郵政は認可の必要があるとの意向を示し、KCS に委託の可否(能否)について検討を望まれる。
- 26 日  
(金)
- ・ OLUHO 開通式  
接待役として、式典、祝賀パーティに参加。  
パーティ会場で、福地取締役と、沖一ヶケーブル、日韓ケーブルについて話し合う。  
また、会社への帰途、尾畑理事と、太平洋ケーブルに関する研究会について話し合う。
  - ・ NHK の申込みにより、OLUHO ケーブル開通に因み、ケーブル通信をトピックとして、電話対談の形でラジオ放送にのせたいので、出てほしいと広報室より依頼。  
午後 4 時より、会社で、約 17 分、アナウンサーとの電話対談の形で放送。(午後のロータリー)。
    1. OLUHO ケーブルの建設スケジュール、工費、概要。
    2. ケーブル通信のしくみ。
    3. 衛星通信との関係。
    4. 日本からのケーブル。
    5. 故障対策、修理法。など。
  - ・ 夜、OLUHO 開通式参加の外国賓客の社長招宴に陪席。(般若宴)
- 27 日  
(土)
- ・ 香港出張の準備。  
第 1 回～第 6 回調整委員会の活動状況を要約。
  - ・ 総企 近藤課長 来訪。  
沖一ヶケーブルに関する、郵政側の要望事項の処理について。
    - ・ KCS への委託は不能かつ不可。
    - ・ KDD が受託することを、認可の対象とすれば、それが公になって、KDD が表面へ出ることをさせているのと矛盾しないか。
    - ・ KDD は海建本部が総括にならざるを得まいが、台湾との接衝には、NASC が表に立つべ

きである。

- ・郵政への有線法8条の許可申請には、NASCが建設・保守の責任をもち、通信回線の運用はKDDがこれをIRUで取得して行なう、建設・保守に関し、KDDは委託を受ける、ことを骨子とし、細目は内部の問題として扱かう。
- ・日・韓ケーブルについて、
  - ・韓国がケーブル建設を本当に急いでいるのか、疑問がある。
  - ・山陰地方の陸揚地選定も、時間を要するかも知れない。
  - ・韓国が急がなければ、海洋調査は来年へ延ばしてもよいのではないか。

28日 (日) ・OLUH0 調整委員会第7回会合へ出席のため、香港へ出張。

30日～31日 ・Excelsior Hotel にて、会合

## 9月

1日 (木) ・午前中、Mr. Chan の案内で、New Territory 見物。  
14:50 JL062 で東京へ帰着

2日 (金) ・部長会。(10:00～12:00)  
・猪股技術課長より、新太平洋ケーブル計画に関する研究会(8月31日)の模様をきく。  
・埋設修理工法開発打合せ会に出席。(13:30～16:30)

3日 (土) ・学会図書執筆打合せ。(10:00～13:00)。江副、鈴木、田畑、樽松、の各氏。  
・技術課のレク旅行(山梨県、石和温泉)に参加。

5日 (月) ・OLU 区間の微小レベル変動の調査検討状況につき、江幡調査役から報告を受ける。  
保全部と協議して、状況報告を役員レベルにあげるよう指示。  
・上記について、志村常務に説明。

6日 (火) ・毎日工業技術賞：KDD, N, F, 古河, KCS, 須田で日中ケーブルを対象としてすいせん書を提出する件について、志村常務に説明。  
・富士通 関川部長に Tel。  
クリマオのPFE障害と、OLUのレベル変動の調査について。  
・志村常務より。  
9/22～9/24 社長、鶴岡副社長が、園田官房長官を案内し苓北中継所を視察される。  
海建本部より3～5名部課長を派遣できるか。  
沖～台ケーブル会議があるが、松田、杉本あたりを出すようにしてもよい。  
(建設部は、鈴木、阿部、徳江あたりから選ぶこととなろう、とのこと)  
・河井 海外協力室長より、タイ(CAT)からタイーシンガポールケーブルの陸揚地の調査についてKDDに依頼あり、上層部も協力すべしとの意見なので、専門家を派遣したいがよろしくとのこと、9月中は無理なので10月以降にしてほしいこと、社内処理(タイとの連絡を含め)は海協室でしてくれることを条件に、了承。

7日 (水) ・OLU 微小レベル変動の状況報告を作成、保全部長と連名で、役員にあげるよう取り進める。  
・学会図書打合せ、田畑、鈴木(欽)両氏と中継器関係を検討。

8日 (木) ・山陰地方に、日韓ケーブル陸揚地調査に出張していた松田、杉本両君帰着。  
概要の報告をきく。  
・松田君に、  
1. 9/22～9/24の苓北出張。  
2. タイより依頼の陸揚地調査要員の人選。



3. 学会図書打合せスケジュールとアレンジ。  
を指示。
- ・鶴岡, 大島 両副社長に, OLU レベル変動について報告。  
日韓, 日台もあるので, できるだけ関係者内部に留めておくよう, 指示あり。
  - ・志村常務より, 日台, 日韓等の海洋調査にパンフィック航業を使えるかどうかの意見を求められ, 日台は時期的に困難と答える。
- 9 日  
(金)
- ・部長会(10:00～)
  - ・NASC 取締役会(11:00～11:05)。
- 取締役会終了後, 沖一台灣ケーブル会議について, 増田社長を中心に協議。
- ・NEC 海外営業 北東アジア部長 小林氏, 田畑氏。  
富士通 山口, 磯部氏 来訪。  
志村常務と, TAS より両社に, シンガポール, インドネシア間の海洋調査の見積り依頼があった旨の話しをさく。(14:00～15:00)
  - ・海洋調査スケジュールの見直しについて, 建設部(部長, 次長, 施設課長)。  
海底線部(部, 次長 石井補佐)間で協議。(16:30～17:30)。
    1. 日韓については, 陸揚地調査の報告, 検討打合せ(本部内)を早急に開き, その結果を志村常務に報告し, その後の処置(役員会にかけるかどうか等)について指示を仰ぐ。
    2. 不確定な日韓をあとにし, 実施すべき日台をくりあげて 10 月に行なう。
    3. 日韓は, 急ぐべき陸揚地選定の作業を進め, 必要あれば, 山陰海岸を本年中に行う。
- 10 日  
(土)
- ・学会図書打合せ(9:30～12:30)。
  - ・近藤課長より Tel(14:00～)
    1. 韓国よりの電話連絡で, 韓国側でも, 10 月の海洋調査実施は, 人の派遣, 準備作業の都合から困難ゆえ, 延ばしたい。10 月 11 日～17 日のソウル会合で, 専門家により海洋調査の協議をしたい, との意向を示してきた。
    2. ソウル会合に, 技術側は何名の出席を要するかについて, 海建本部は, 本会合, 専門家会合を含め, 3 名と回答。
    3. 日一台灣については, ケーブル会議の対処方針の関係役員, 部長間打合せを来週早々開く。
    4. NASC/KDD 間基本契約を早く結ぶよう, そして KDD 側の受入れ主管をどこにするか, を定めるよう, 要望。  
海建本部で受けてもよいが, それを明確にし, 他部門が協力し得るようにすることが条件であると伝える。
- 12 日  
(月)
- ・海底線部, 部内打合せ。
  - ・山陰, 日韓ケーブル陸揚地調査報告会。
- 13 日  
(火)
- ・沖縄一台灣ケーブル会議(東京 9/20～9/22)の対処方針案の審議  
関係役員, 部長 間打合せ。
- 14 日  
(水)
- ・学会図書 打合せ。(NTT 鈴木, NEC 田畑)。
  - ・星齒科。
  - ・河井室長(海協)より, タイ陸揚地調査について話しあり。
- 15 日  
(木)
- 祝日。
- 16 日  
(金)
- ・部長会。
  - ・NASC, ケーブル会議 打合せ。  
増田社長, 以下, NASC 役職員にて。

- 19 日 (月) ・夜、ホテルオークラにて、OLUHO ケーブル完成祝宴。(NEC , FUJITSU, OCC 主催)  
T.C. Chan, S.K. Chen 来日.
- 20 日 (火) ・沖縄ー台湾ケーブル会議。(東京).  
・ITDC, T.C. Chian, S.K. Chen  
NASC, 増田社長 他.
- 22 日 (木) ・ハワイにおける新太平洋ケーブル会議の資料に関し、木村常務、尾畑部長に説明：  
日本ーハワイ間ケーブルのリードタイム.
- 26 日 (月) ・局所長会議  
・午後、学会図書打合せ.
- 27 日 (火) ・局所長会議 個別会議：13:30～14:30.
- 28 日 (水) ・日韓ケーブル、採用システム、完成期日について、塚田課長らと協議.
- 29 日 (木) ・学会図書打合せ.
- 10 月**
- 1 日 (土) ・星齒科.  
・学会図書原稿 仕上げ.
- 3 日 (月) ・海底線建設委員会 10:00～  
・日韓ケーブル会議の対処方針(案)  
併せて、山陰地方陸揚地調査状況の報告.
- 4 日 (火) ・夜、NEC 招宴. 住友ビル、住友クラブ、OLUHO ケーブル関連.  
・福地取締役より：日韓ケーブルの完成期日について、1980 年完成の極めて困難なことを説明.
- 5 日 (金) ・午前、学会図書 打合せ：最終原稿提出.  
・総合企画室と、日韓ケーブル建設線表について 討論.  
・社長に、日韓ケーブル会議対処方針(案)について説明.  
併せて、山陰地方の陸揚地調査状況を説明.  
・夜、GNTC 駐日代表の交代に伴う、KDD 主催歓送迎会に出席.
- 6 日 (土) ・役員会：尾畑部長に同伴し、日韓ケーブル会議対処方針(案)の説明.  
・“海底ケーブルのシステム経済化” 打合せ、15:30～.
- 7 日 (金) ・部長会、開進委 とともに欠席.  
・沖ー台ケーブル：ITDC との技術打合せのスケジュール、について、関係者と打合せ.  
・学会図書：参考文献整理 了.
- 8 日 (月) ・CS-36M の T-AGC 化に時間のかかることを、メーカーに確認した状況を、志村常務、福地取締に説明
- 11 日 ・NEC 斎藤営業部長より Tel.



- (火) Singapore-Indonesia ケーブルの ocean survey について、前に引合いが TAS からあったが、入手した情報によれば、CW 船で 11 月に実施と決まった模様。
- ・海洋調査後、システムに引合いがあるが、12 月末に Tender 提出が要求されることになろう。
  - ・星齒科。
  - ・社長室 西本次長に協議：(建設部長とともに)。沖一ケーブル進捗をはかるため、総企のとりまとめを要請。NASC/KDD の基本契約が遅れているため、海洋調査、漁業接衝等を先行して NASC よりの依頼文書により進めているが、本来の姿ではない。ケーブル建設が予定通り進まない心配がある。社長室でも考えてほしい旨 要望。
- 12 日 (水) ・ NEC 東北アジア部 小林部長より Tel。  
沖一ケーブル Backhaul Mux 等の手配について、NEC 出張者が CGRA の Mr. T. C. Chian, Mr. Yang にきいた所では、沖一ケーブルと別途の契約に考えており、必ずしも NEC に頼むとは定めてないというが、どうか。
- ・マイクロリンクの話と、Mux とが混同されている模様。
  - ・大野元社長(現相談役)の夫人の告別式：麻布、カトリック教会にて。
  - ・総企 尾畑部長 と 協議。
- (1) 沖一ケーブルのとりまとめのため、関係各部間打合せを開き、進捗状況と問題点、今後の進め方について協議するよう要望。
- (2) CS-36M の T-AGC 化には、時間を要する旨の、メーカーに対する調査状況を知らせる。
- ・関管理部長と沖縄出張について協議。
- 13 日 (木) ・ 沖一 海洋調査事案決定。  
・ 沖縄、識名所長に Tel。  
10/20～10/25 沖縄へ行く件。
- 14 日 (金) ・ 部長会  
・ 労厚部と沖一海洋調査、沖一ケーブル計画について労組説明の事前打合せ。
- 15 日 (土) 出社 学会誌 総合報告原稿執筆を進める。
- 17 日 (月) ・ ケーブルシステム経済化の検討打合せ。  
総企、研究所、海建。
- ・ 労組に対し、沖一ケーブル計画、KDD の受託作業、海洋調査等に関し説明。(総企、海建)、同時に、日韓ケーブルに関しても、現在まだ計画協議中であることを説明。(総企)。
  - ・ 新自由クラブ依田議員秘書より Tel。(広谷君受け)  
東南アケーブル計画について勉強したい旨。  
社長室、渉外担当課長 大矢氏にパス、郵政電監室小林副参事官と協議し処置するとのこと。
- 18 日 (火) ・ 午前、休み。  
・ 午後、新技術開発推進委員会。14:00～18:30。
- 19 日 (水) ・ 沖一ケーブル推進打合せ。10:00～12:30。総企室主催。  
各部の受持ちの進捗状況。(国際部、資材部、海建、等。)
- 20 日 (木) ・ 沖縄出張。(建設部長、管理部長らと同道)  
午後、沖縄通信事ム所で打合せ後、県庁、開発庁、海上保安本部へあいさつ廻り。
- 21 日 ・ 糸満、港川、具志頭村、中継所 郵政管理事ム所、NTT 管理局等 訪問。

(金)

22 日 帰京  
(土)

- 24 日 (月)
- ・ 電信電話記念日 祝賀宴. 帝国ホテル.
  - ・ 労組本部への説明. (労厚主催).
  - ・ 日韓ケーブル, 総企室より現状説明.
  - ・ 沖一合ケーブル, 総企, 海建より説明.
  - ・ 志村常務より, タイマーレーシングボール(TMS)ケーブルについて, 富士通よりアプローチの状況説明があったとのこと, KDD 丸による海洋調査の実施依頼があり得るので, 検討しておくようにとの話しあり.

- 25 日 (火)
- ・ 学会誌 総合報告の原稿作成を進める.

- 26 日 (水)
- ・ 星齒科.
  - ・ 河井室長と, TMS ケーブルについて電話で話す.

- 27 日 (木)
- ・ NASC にて, ITDC との技術会議の打合せ. (11:30~12:30)
  - ・ 会議アレンジメント, KDD への依頼, 等.
  - ・ ITDC との技術会議について, 技術課長, 補佐, 江幡役と打合せ.
  - ・ 古河電工に対する埋設機特許の実施許諾について, 副社長主宰の技術打合会で審議のため, 出席を求められ, 技術課長を出席させる.

- 28 日 (金)
- ・ 建設部長と人事評定につき協議, 4 類→3 類への昇格等.
  - ・ 新太平洋ケーブル計画の作業部会付託事項の検討打合. (総合計画 主催).
  - ・ [14:00~16:30]
  - ・ ケーブルシステムの技術データ・コストの資料作成を依頼される.
  - ・ 同友会 懇親パーティ.

- 31 日 (月)
- ・ 副参事 定期管理表 (52 年度上期). 役員へ提出.
  - ・ 信学会誌 総合報告「日中間海底ケーブル」原稿, 学会へ送付.
  - ・ 労組より, 日韓ケーブルに関する説明を求められ, 総企 近藤課長が主要説明.
  - ・ 陸揚地選定について補足説明(技術的立場のみ).

## 11 月

- 1 日 (火)
- ・ 沖縄ー台湾ケーブルの NASC/ITDC 間技術会議に関し, 海建本部内で打合せ. 会議資料の検討, 進め方, スケジュール等. (10:00~12:30)
  - ・ 建設部, 海底線部: 部, 次, 課長, NASC 今井, 飯田.
  - ・ 午後, 郵政省にて, 米沢参事官他に, 技術会議対処方針を説明.
  - ・ 総企室 塚田課長より 日韓ケーブル会議について協議あり.
  - ・ システム, 完成期日, 陸揚地調査 等.
  - ・ 羽田空港にて, 来日の ITDC Mr. Yang, CGRA Messrs. Lee Yeh を出迎え.

- 2 日 (水)
- ・ 沖一合ケーブル 第 1 回技術会議 開始. 夜, 留園にて, 増田社長招宴.

- 3 日 (木)
- ・ Mr. Yang 他を二宮中継所より箱根へ案内.

- 4 日 ・ 技術会議  
(金)
- 5 日 ・ 同上。 討議 およぶ 議事録 確認。  
(土)
- 7 日 ・ ITDC/CGRA. Mr. Yang ら, OCC, NEC 訪問。  
(月) ・ 国際部主催：沖－台ケーブルの建設保守協定最終案の検討打合せ。(9:30～13:00)  
日本側国内連絡線の準備手配について問題提起。  
総企室プロ計画で関係部門と協議することとなる。  
・ 夜：麻布住友会館にて、NEC 主催。Mr. Yang らの夕食会に参加。
- 8 日 ・ Mr. Yang らと沖縄へ。  
(火) 沖縄中継所 案内。  
・ 夜、識名所長招宴。
- 9 日 ・ Mr. Yang らを沖縄国際空港にて見送り。(10:00)  
(水) ・ 海洋調査を終え帰港した KDD 丸を訪問。  
・ 12:20 JL902 にて帰京。
- 10 日 ・ 増田社長に、技術会議終了の報告。  
(木) ・ 池田 総企、技計部長と、システム経済化・CS-36M 長距離化を開発項目にする点について協議。  
・ CS-36M の T-AGC 化の問題について、富士通 奥村部長の来訪を求め、説明をきく。  
・ 東西マレーシアケーブルの海洋調査結果のファイナルレポート提出のため KDD より派遣要員の選出を JICA より求められ、とくに Chief について、常務に選定難を説明。Chief の重要性に鑑み、建設部長または海底線部長を選ぶこととなる。
- 11 日 ・ 建設部長と協議：東西マレーシアへの報告団の団長は、建設部長となる。  
(金) ・ 志村常務に同行し、MPT, 神保電気通信監理官, 米沢参事官, 高橋福参事官を、二宮中継所, OCC に案内。
- 14 日 ・ 東西マレーシアケーブル派遣者について、海外協力室長と協議。  
(月) JICA, 郵政省で、先に派遣してないメンバーの参加に難色を示す。
- 15 日 ・ 研究所 中井室長と CS-36M の長距離化、システム経済化についての進め方を協議。  
(火) ・ 総企 塚田課長と日韓ケーブル会議(第3回)の対処方針案について討議。
- 16 日 ・ NEC 田畑氏 リビアケーブルの受注とシステム概要について説明に来訪。  
(水) ・ 保全部長と、OLU ケーブルのレベル変動に関する今後の措置を打合せるための関係役員、部長間会合の設定に関し協議。
- 17 日 ・ 茨城通研へ出張。  
(木) 第5回研究状況の案内。  
光ファイバーケーブルを主にみる。
- 18 日 ・ 海底線建設委員会。  
(金) 日韓ケーブル会議(第3回)の対処方針案を審議。
- 19 日 ・ 休み。  
(土) 佼成病院。

- 21 日 (月) ・午前、佼成病院にて、胃の X 線検査。  
・午後、出社。海底線部次長、技術課長らに、日韓ケーブルの建設委員会審議状況を説明。要員増の検討、陸揚地選定における当部の所掌の確認を指示。
- 22 日 (火) ・システム経済化、CS-36M 長距離等の開発の体制と進め方について、中込研究所長、池田技術計画部長と協議。(10:00~11:00)  
1. CS-36M 長距離化については、海建本部より再提案し、開発項目とする。  
2. システム経済化は、検討グループをオーソライズし、調査検討結果を副社長主宰技術打合会に提出し審議をうける。  
以上の線で進めることを、志村常務、大島副社長に説明することとする。  
・志村常務より。  
日韓ケーブルに CS-36M 方式を使用する件につき NTT の事前了解を得るための、資料準備(ケーブル計画概要、特許、情報協定上の問題 etc)を指示される。  
・郵政省電監室 米沢参事官らに、沖一合ケーブル技術会議(11/2~11/5)の報告。(16:00~17:00)。
- 24 日 (水) ・日韓ケーブル会議に対する進め方の打合せ。(10:00~13:20)。総合計画部 主催。  
・タイ・マレーシア・シンガポール ケーブル計画に関し、富士通 新川顧問他が状況を報告に来訪。  
1. 技術面では、海洋調査を G-G ベースで依頼される可能性大。  
2. 円クレジットについて、日本政府に頼みたいとの意向が三国にあり。  
・志村常務より  
1. 役員会で日韓ケーブルの対処方針が了承され、技術要員増も職員部に協力方の指示がでたので、至急検討するようにとのこと。  
2. 大島副社長が、光ファイバー海底ケーブルの開発(NTT が当面、陸上で実用化を図っている)、KDD は海底ケーブルで特徴を出す)を強力に推進するため、第 2 研究所の新設も考えており、海建本部も開発に協力してほしいとの意向を示され、社長も了承されているとのこと。  
3. 沖一合ケーブルが NTT ケーブルと cross するので、NTT に了解をとりつける必要があるため、施設局長(長田総ム理事)にあいさつする件につき了承を得る。  
・中込所長より Tel。  
システム経済化の進め方について、11/22 日協議の結果を報告したところ、早急に技術打合会にかけよと言われたとのこと。来週早々、資料作成について打合せることとする。
- 25 日 (金) ・NTT 技術局村上次長に Tel。  
日韓ケーブルに CS-36M を使用する可能性が大なので、事前に説明したい旨伝え、KDD 志村常務が誰方を訪問すべきかをきく。  
技術局長、技師長を訪ねればよいが、来週前半は不都合なので、追って日時を連絡すること。  
・NTT 長田総務理事に Tel。  
沖一合ケーブルが NTT ケーブルに cross する件につき、説明に行きたい旨伝える。岩崎施設局長心得。曾根海工事業所長にも同席してもらい、28 日 13:00 に、鈴木建設部長と行くこととする。  
・NEC 田畑氏、Fujitsu 奥村氏に Tel。  
KDD のケーブルプロジェクト、メーカーのプロジェクトが重なると、生産計画に支障を来すことが懸念されるので、それぞれで計画について情報交換を非公式に行なうことを提案、OCC も交え、当面のプロジェクトについて 12 月上旬に打合せることとする。
- 28 日 (月) ・日韓ケーブル建設に伴う要員増について、職員部長に善処方を要請。  
\*日韓ケーブル会議(第 3 回)対処方針のなかで、役員会了承済み。(11・24)  
・松村業ム課長 帰国あいさつに出社。

- ・ NTT 訪問。(建設部長同行).
    - (1) 長田総務理事：13:00～13:30. 岩崎施設局次長，曾根海施事ム所長同席.  
沖一合ケーブルルートが，沖縄 - 宮古ケーブルと cross する件につき，沖一合ケーブルの状況と，ルート調査の経過を説明：ケーブルクロスに関する国際慣行，およびクロスに伴う何らかの N/K 間とり極めについて今後協議のこととする.
    - (2) 村上技術局次長：13:40～15:00.  
日韓ケーブルに CS-36M 方式を使用する件の NTT の了知のし方につき協議.  
KDD 社長 - NTT 総裁間で話しを通すことを NTT 側は望んでいる模様.
  - ・ 上記の件，志村常ムに報告.  
当面，常ムより小口技師長に話しをする，こととする.
  - ・ 総合企画会における長計 18 号ケーブル計画の審議に参加。(17:30～19:20)
  - ・ 沖一合ケーブルの布設に関する有線法 8 条の許可が郵政省よりおりる. ㊞
- 29 日  
(火)
- ・ システム経済化の検討資料作成に関する関係者打合せ。(9:30～11:00)  
総企 深田課長，研 中井室長，海・技術課長，杉本副参事.
  - ・ 日韓ケーブル用陸揚地選定に関する打合せ。(14:00～15:30)  
総合計画部 主催，海建，技術計画，管理部，伝施部.  
今後のスケジュールと，各部の分担，役員懇談会への資料作成 等.
  - ・ 日韓ケーブルに CS-36M 方式を使用する件につき，NTT にあいさつのため，志村常務が，小口技師長を訪問. ———社長より総裁あて文書がほしいとのこと.
  - ・ 塚田プロジェクト計画課長に，NASC/KDD 間基本契約が締結後，沖一合ケーブルのスケジュール見直しの必要あることを説明，関係各部でスケジュールの確認の打合せを行なえるよう要請.
- 30 日  
(水)
- ・ 日韓ケーブル会議(第 3 回)に出席. 10:00～